臺灣日日新報 夕刊
三月二十一日
夕刊定價一部貳錢
發行兼編輯人 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目三十二番地 臺灣日日新報社
臺中市 [illegible] 臺中支局
臺南市 [illegible] 臺南支局
花蓮港街 [illegible] 花蓮港支局
大阪市 [illegible] 大阪支局
東京市 [illegible] 東京支局

内閣改造の成行如何で森書記官長は辭任か

犬養首相の既定案通りに鈴木法相の内相實現を期待

【東京二十一日發電通】内閣改造問題を廻り鈴木系、久原系さては反鈴木系の策動愈々深刻となり二十日議會終了後も中國四國聯盟を初め各種の名目に依り種々の會合が各所に行はれ三百三名の大世帯を擁する政友會は日を趁うて危機を深めつゝある情勢にありこの黨内の錯綜せる關係は首相の内閣改造を益々困難に導き議會後果して首相の既定案通りの改造出來るや否や頗る難事とされてゐる、この間の事情を察知した森書記官長は二十日某昵懇者に對し内閣改造問題の成行如何に依つては書記官長を辭任すべしとの決意を漏したと言はれてゐる、森官長としては首相が一旦方針を決定せる以上事情の如何を問はず斷行せざれば國務の圓滑なる遂行は到底期し難しとし飽くまで鈴木法相の内相實現を期待し若し之が實現せざる場合は潔よく辭任すべしとの相當の決意を有してゐるものと見られてゐる

餓死線上の鮮人

資金融通を政府に請願 關東軍司令部が奔走

【奉天二十日發電通】瀋海沿線から滿鐵線東方地區一帶に居住する朝鮮人は滿洲事變以來支那兵匪の爲め非常な損害を蒙り其の數實に二萬四千人に達したが之等鮮人は喰ふに食糧なく水田に蒔く種子さへ無い有樣で此の儘放任する時は餓死を待つより外ないので關東軍司令部では奉天總領事館居留民會と協議し之等鮮人の救濟資金、復興資金の融通を政府に請願すべく打合中である

長春新國家祝賀の市内の雜沓

我艦隊の行動を公表

廿一日海軍當局で

【東京二十一日發電通】上海事變勃發以來我海軍聯合艦隊の行動に關し全く根もなき風說が傳へられてゐるのに鑑み、海軍では二十一日午前左の如く艦隊の行動を公表した

小林中將を司令官とする第一艦隊は上海事變當時は佐世保港外の寺島水道方面において諸訓練に從事し數日前鎭海要港に入港訓練を繼續中であり、末次中將麾下の第二艦隊は佐世保にあり野村中將の率ゆる第三艦隊は引續き揚子江の警備に當り、第一遣外艦隊は北支方面で警備の任に當つてゐる

工部局陳謝

責任巡査は免職 笹倉氏毆打事件

【上海二十日發電通】十八日の笹倉氏毆打事件に關し村井總領事は二十日朝工部局當局に對し嚴重抗議すると共に將來の保障を要求したところ工部局では責任巡査を免職すると共に陳謝の意を表し今後充分取締ると言明した

救出隊二名が久留島と會見

生命には危險なく 一週間後には歸鞍

【奉天二十日發本社特電】馬賊に拉致された久留島氏三部氏救出のため敦化警察署より派遣された支那人二名は昨日敦化北方一里半三家子附近寺山部落の支那家屋で久留島氏と會見本日午後三時半敦化に歸來したがこの結果、久留島氏は監禁されてゐるが非常に待遇され

生命は 絕對に危險なく一週間後には歸還し得る事が判明した、尚右馬賊の首領は同部落に約十萬の資產を有し、多數の部下を持つてゐるが同地の保衛團長王某は同首領の驅逐をはかり兩者は猛烈な勢力爭ひをしてゐたので王の策動により同首領は苦境に立つた結果久留島氏の來たのを幸ひ有名な[illegible]久留島氏に逃げられては日本軍の討伐隊に進擊される危險あるため久留島氏を監禁し、事件解決を懇望し久留島氏も生來の義俠心から首領のため盡してやる事となつたもので

救出に 派遣された支那人に久留島氏は左の如く語つた

自分が縛られて拉致されたのは部下の誤解からでその後首領と共にこの土地に來た、當分此處に滯在して王と首領の苦境を救つてやるつもりである、その上で歸へるから皆に心配せぬ樣傳へて貰ひたい、毎日退屈するので寺山附近を散步してゐる、寺山は日露戰爭當時栗田聯隊が激戰の後占領した有名な古戰場で丁度カメラを持つて來てゐたのでこの邊の

風景を 收めてゐる君が歸つたら是非活動寫眞機を送つて貰ひたい心配かけてすまなかつた

因に同地の靑公安局長は奉天省政府に對し同首領を鐵山一帶の自衛團長に推薦したので近く任命せられるので事件はこれで解決し久留島氏も無事歸るものと見られてゐる

十九路軍兵力充實

【上海二十日發電通】第十九路軍は兵力補充のため第七十八師長を廣東に派し募兵中の所所期の兵を得て元通りの兵力になつたと二十日の支那紙は報じてゐる

北滿要人の不動產沒收

滿洲國政府から

【ハルビン二十日發電通】滿洲國政府は治安攪亂の元兇丁超、李杜其他學良要人の北滿に於ける一切の莫大な不動產を沒收した

融合親睦のため公園其他の施設

新京の都市計畫

【長春二十日發電通】國都建設委員會は各國民族の接觸を圖り大家族主義の融合親睦を圖る一助として國都新京の都市計畫に於て特に公園、運動場、倶樂部等の施設に力を注ぎ之が實現に努ることとなつた

湯に下野を迫る

學良頻りに熱河を狙ふ

【奉天二十日發電通】熱河の湯玉麟は新國家參加を表明し滿洲大新國家に對し其態度を聲明し來つた爲め學良は張紀顯に萬福麟の二個旅と山西の商震軍を熱河に入れんとし湯に下野を迫つてゐるが湯は斷乎として之を拒絕し却つて綏遠では朝陽附近の騎兵二千五百を以て同地北方馬賊の學良派匪賊を討伐しつつあり今の所學良も手の施し樣なく熱河[illegible]人の援合を狙つてゐる

新國家の成立に深甚の敬意を表す

日本外三ケ國から

【長春二十日發電通】滿洲國の獨立通電に對する各國の回電は十八日フランス、イタリーが各國に先手を打つたのを初め十九日日本、二十日エストニアの四ケ國が到着し何れも新國家成立に深甚の敬意を表し『通電文に正に接受す』との意味を言明してゐる、露西亞其他の各國よりも續々同樣の回答に接してゐるが外交部ではこの友誼的な各國の措置に對し新國家承認の前提だと言つて喜んでゐる

その日その日

○ 衆議院の議長が、政友會だけの議長でないことはモチ

○ 今の議長が、黨籍を離脫したとて黨人根性をまで離脫するはなか〳〵困難

○ だから議會開期など八釜しく論ずるのは技葉末節、根本は黨派的な黨人根性を互ひに是正すること

○ 何だか政友會とお家騷動とは附きものの樣でもある、政務小の[illegible]

立こそ騷動の源

○ そのため今日まで同會の内部には取返しの紛糾が重ねられてゐる、早晩清算せねばなるまい

○ 今日の時局重大、實は黨の内紛どころではない害、コレ黨人黨を過り國家を過るとの非難ある所以

○ 上海の第三艦隊から一部の艦艇を撤去に決る、陸兵の歸還と共に飽くまで自主的行動

○ 帝國の公明なる態度が、自然に認識不足國に解つて來やう、出端

○ 日の支那とは誰が呼ぶ

○ 流石にリットン卿だ、不都合な支那の陳情へ働く──

○ 日本に悔恨や敵意を起させ其の爲め日支事件は起つた。今更騷擾に救ひを求めても困りますよと

○ 上海一帶の國際管理は、同地の治安を維持し世界一の樂土とする所以、是非實行したい

○ 春から初夏にかけては人の心も憂鬱を來す、コレ殺傷や自殺事件などの多いわけ、ご用心

軍備現狀の支那の發表

我代表部から催促

【ゼネバ二十日發電通】軍縮會議我が代表部では會議の其後の進捗的討議の遲延的進行を圖る爲めイースター祭の休暇中も交代で討議細目を練りつつあるが支那代表部から今日迄軍備現狀の發表がない爲め總論まで研究を遂げ得ない狀態なので聯盟事務總長ドラモンド氏に對し出來るだけ速かに支那に右の公表を要望する樣催促の書面を出すこととなつた

上海事變の支那側損害

國民政府で發表

【上海二十日發電通】支那側は上海事變に依る市政府管轄區内の損害に付き國民政府統計局調査として左の如く發表した

損害總額	一五〇、八七一萬元
被害面積	四七四方里
被害戶數	一八〇、八一六戶
被害者數（全市人口の四割五分）	八〇四、〇八四人
死亡者數	六、〇八〇人
負傷者數	二、〇〇〇人
行方不明者數	一四、〇〇〇人
直接間接被害財產價格	七八〇、一九二萬元
被占領區域の休校學校	二三三
その學生數（全市學生の四分の一）	三九、七三五人
失業教員	三、一〇七人
被占領地の工場全數	五九七
の内過半數その損害額	六、七一四萬元
全市職工の八割失業す、直接間接被害店舖	五九、〇七四萬元
全市銀行錢莊の營業八割五分を減ず	
鐵道損害	一六、八九三、三一七元
公共事業被害總額	一二、三五二、〇二五元
治安設備損害額	五四萬元
市政府の收入減	二二二一、一八六元
（四割、減收）	

調査委員一行戰線を視察

支那側の隨員記者案内を拒絕さる

【上海二十一日發聯合】支那調查委員一行は本日午前八時四十分ホテルを出で二十餘臺の自動車で閘北の戰線を視察に赴いた 案内は日本側のみ支那隨員記者等は拒絕された、一行は閘北から鐵道に沿ひ江灣に赴き江灣から吳淞を一日で視察の豫定

竹下、田端、今川三氏

二十日夜東京出發 廿一日神戶から乘船

【東京二十日發支局特電】今回新任の竹下臺中州知事は本日午後八時廿五分東京驛發田端臺東廳長、今川臺南州知事は午後九時二十五分東京驛發、[illegible]多代議士、拓務次官、竹屋子爵その他多數の見送裡に西下した、尚今川氏は夫人令孃同伴であつた、一行は神戶に落ち合ひ小濱内務局長も同時に二十一日出帆の蓬萊丸で赴任の筈だが互ひに新任の間柄で蓬萊丸船上はさだめし賑ひを呈することであらう

民政黨で政府を糾彈

臣節問題、帝都治安問題で

【東京二十一日發電通】民政黨は二十二日の軍事費豫算に對し小川鄕太郎、山道襄一兩氏の内一人立つて質問した上原案可決し、臣節問題については二十三日の本會議にて齋藤隆夫氏が徹底的に政府の責任を糾彈し續いて帝都治安に關し武富氏が糾彈的質問に起る筈

衆議院各派交涉會

議事進行に關して

【東京二十日發電通】議事進行に關する各派交涉會は二十日午後五時から院内で開會、協議の結果二十一日休會し、二十二日午後一時から本會議を開き直ちに日程に入り軍事費豫算案等を一括上程、犬養首相の施政方針演說、大角海相、荒木陸相より軍事行動の經過、芳澤外相より外交經過を報告した後軍事費豫算案を[illegible]可決し、同日一括[illegible]の議事を終了する豫定に決定し[illegible]、民政黨より臣節問題に關する質問並に帝都治安問題に關する質問の内一件を上程するか或は同日は之をやめ二十三日定刻より前記質問を行ふかにつきその取扱ひを民政黨に一任することに申合せ午後七時半散會した

平塚長官

今夜南下

平塚長官は二十一日夜行で南下し高雄、臺南州下の初巡視を爲すことになつた、日程は二十二日高雄、二十三日臺南、二十四日嘉義、二十五日臺中、二十六日新竹、二十七日歸北の豫定である

伊中央銀行割引步合引下

【ローマ二十日發電通】イタリー中央銀行は公定割引步合を七分から六分に引下げた

朝日丸より（米船）

二十日門司發高雄行の吹雪にて恐さ強かりしも漸次和かになりよき航海をなしつつあり二十二日午後零時半高雄外港の豫定、一同元氣（二十一日著無電）

人事

▲三宅臺灣大學部長 二十一日夫人同伴建功神社正式參拜

無絃琴

聯合艦隊の[illegible]ンで外山新市[illegible]聯合艦隊司令官を中心に林某隊長、[illegible]、高東山劍などが役長、[illegible]兵、[illegible]隊長第一驅逐隊長[illegible]嚴しさり▲憲兵隊の機嫌が惡いが爲めに「おつむ」まで惡くなつたわけでもあるまいが[illegible]官外山中將は[illegible]でお年よりは十歲位若く見えるとの意見に、[illegible]「おつむ」も年の割に[illegible]いぞとあり、北の所林某[illegible]かしいとある▲[illegible]と云へば[illegible]第一驅逐隊長と村上新第一驅逐隊長は中央幼年學校以來の知友として久振りで顏を合せたわけだが[illegible]んが「村上若相變らず若いなあ紅顏の少年時代を偲ばせるよ」と云へば村上驅逐隊長「君こそ紅顏可憐の美少年だつたぢやないか」と應酬して昔の思ひ出話に花を咲かせ「いよう御兩人」で復も笑ふ▲[illegible]金子[illegible]文、小牧近江、金野[illegible]三君等とは小學時代の惡童仲間だつたさうだ▲その頃から[illegible]の上さに有名なもので[illegible]にも[illegible]一時は文學[illegible]もやつた事もあるさうで[illegible]趣味に[illegible]

火の鳥

(46)

中村星湖作
吉本雅生畫

美しい子供（九）

しばらくすると、初男少年は退屈を感じはじめたらしかつた。

「小父さん、マリ子さんは幾時ごろ歸るんです？」

「今日は半退けだと言つてたから、もう間はないから。」

「おやあ、僕、迎へに行つてやらうかなあ。」

「學校を知つてゐるかい？」

「村の教會のわきにある、あれでせう？」

「さうだよ。」

そこで、かれは小さい友達を迎へに出掛けた。秋山も、新城と二人きりになるのが厭だつたので「僕も一緒に行かう」と言つてかれに續いた。かれはアトリエへ忘れた帽子や鳥打帽を取りにそこへ寄つた。秋山もやはりそこへ顏を出した。

新城、アトリエには、年若の背の高い外國人と、それの通弁か何からしい中背いの日本人とが來てゐた。

「ふむ、ふむ、猶兒の畫をもう三枚程、一週間以内に描いてくれと言ふのだね？それは描くがね、僕は急に金がほしいんだよ。金くれないかな、金。年内に金を……」

「フランス人とはちよつと感じの違ふ外國人の方をちよい〳〵見ながら、熊谷は日本語で早口に言つた。それを、間に立つた日本人が低聲で通譯した。

「金、金……」と繰返して、大股で路傍に寄つた熊谷の言葉が、路傍に物乞ふ者の悲しい歌のやうに秋山の耳を打つた。かれは忍い所へ來たと思つたが、熊谷は他人に聞かれたつて平氣らしかつた。

やがて、初男少年に隨つて、秋山は「譯解けのぬかるみ」を歩いて行つた。空は明るく、まつ直に晴れのままで落ちをり、やや水も[illegible]つて流つたりしてゐた。「イクフエー、ボオ・タン！」（よいお天氣ですね）と、出會ひ頭の誰にでもいつてやりたい樣な日だつた。

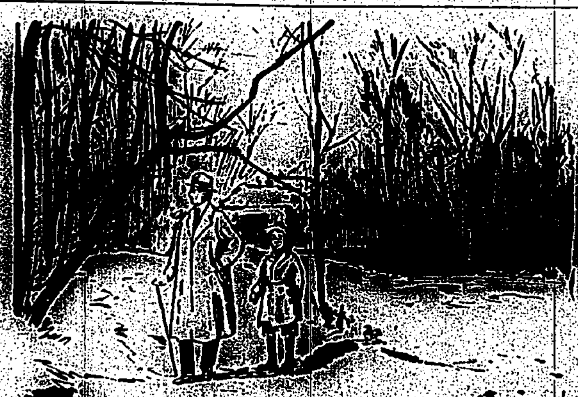
二人は靜かな村の通りをゆつくり歩いて行つた。とある街角を曲ると、向ふから泥まぶれの靴を踏みにじりながら、猫の子のやうに眺りながら、一群の子供がやつて來た。

「あ、あの中にマリ子さんがゐる。」

初男少年は目さとくかの女を見付けて、その群へ近つて行つた。二人の子供が、一人は十歳になるかならぬ少女、一人は十五だとか聞いたが、十二、三にしか見えない少年が、群のなかから現はれたところは、何とも美しい光景だつたらう！

惡いこやうに背後から見送つてゐる金色や茶色の髮の子供たちを圏繞にして、黑い髮の、黑い眼の王子と王女との見ごとな一對が歩いて來るとも見てもよささうだつた。

初男少年は、やや同樣で脫い明るい鼠の外套を着、やはり鼠の鳥打をかぶり、紺いネクタイをしてゐた。マリ子は瓜實顏で外套を片手に抱へ、黑のベレをかぶり、黑繻子のガウンを着、ランドセルをしよひ、まつ赤なネクタイをしてゐた、どちらも日本人の子供として優越よりも美しかつた。一瞬間、秋山はほんたうに懷々した氣持でかれらを打眺めた。二人は可なり流暢なフランス語で、何か愉快さうに話しながら歩いて來た。



「お嬢さん、大きくなりましたね」と秋山は少女に近づいて手を差出した「僕をお忘れですか？あなたがずつと小さかつた時分、お父さんやお母さんの御厄介になつてゐた秋山です。」

かの女はびつくりしたやうに立止まつて、すずしい目を大きく見はつてかれを見上げたが、何とも言はなかつた。日本語が解らぬのかと思つて、かれはフランス語で話しかけてみた。すると、かの女は笑ひながら、「いゝえ、わかります」と日本語で答へた。

「わたし、ちつとも憶えてゐませんわ。」

かの女は母親そつくりの目でかれをぢつと見詰めながら、手袋をはめたままの小さな片手をかれに與へた。

甲板で拾つた話

三等運轉士Aと事務員Bの對話

甲板の地上夜を遙く背後に殘し○○丸は舷首に白波を嚙んで滑るやうに進む。綱に張つたロープはシツトリと濕り垂れ下り、綱が朝陽を受けてダイヤモンドのやうにキラ〳〵と輝く。死線を越え、危地を脫した避難の人々は疲れと安心にまだ眠りから覺めぬ。靜かな朝の空氣を搖り動かすやうに靴音がコトコトと響いてブリッヂの下から長い人影が甲板へ動いて行く。當直を終つた三等運轉士のAが、がつしりした體軀を稍反り氣味に悠然と歩いて行くのだ。とコトリと微な音がして船室の扉が開いた……

「お早う」事務員のBが握手しながら室から出て來た。

A「やアお早う、今度は眠いたらう」

B「此の航路へ初めて來て酷く驚いたのですからね、[illegible]りはどうです。僕も銃を持つて飛び出したくなりました」

A「誰だつて興奮するよ」

B「[illegible]を通過する時は心配しましたね」

A「眞實に心配かつたね」

B「暗に紛れてといふ處です」

A「たが[illegible]日の夜に何時でも敵彈に困らせられるんだ」

B「何しろ[illegible]が[illegible]りつかないからね」

B「僕等では[illegible]へて居なかつたんですからね」

A「これには驚きました」

B「あの勇敢な日本軍の人々を見ては我々もじつとしてゐられなくなります」

A「然し海軍兵はえらい元氣だつたね」

B「何しろ先行になつて行動を始めたのだからね」

A「今朝はすつかり參つてゐたらう」

B「どうして〳〵僕よりも元氣ですよ」

A「さう言へば君も元氣が良いな、だが顏が痛いだらう」

B「何ともありませんよこの通りです」と顏を叩いて見せる。

A「負け惜しみをいふなよ」

B「ほんとですよ」

A「ちやア顏を見せろ」

と云つて二人は船室へ入つた。[illegible]

B「[illegible]」

A「[illegible]」

[illegible]

妙布 外用

▲主治効能
●肩腰のコリ●うちみ
●過勞の痛●神經痛
●リウマチス●乳のコリ
●胸咽喉の痛●運動疲れ

價定 二十錢 三十錢 五十錢 一圓

[illegible]妙布は[illegible]ことが出來るのであります。[illegible]本舖は東京市[illegible]式會社[illegible]東京四六〇七番[illegible]

停戰協定の基礎案
兩政府には未だ難色
非公式會議は廿一日で終了せず
尚數回交涉を要す見込

【上海二十日發電通】重光、郭泰祺兩氏は二十二日會見し十九日夜一致を見た協定案が日支兩政府より承認さるゝ時は愈よ正式交涉を開始するが昨夜の協定はまだ我主張の總てを容られた譯ではなく、支那側としても政府が同意し來るとは豫斷し難く殊に第三の我軍の撤退區域の治安に就ては色々煩瑣な調査を必要とするので非公式會議は二十一日のみにて終了せざるべくこの後數回交涉を要する見込みである、右に付き我當局は話は順調に進みつゝあるがちやんと決定するまでには相當日數を要すると語つた

停戰協定草案に對し
支那人間に反對運動
郭代表を國賊と罵り一騷動
背後に廣東派が策動

【上海二十日發電通】十九日重光公使、郭泰祺氏間に意見一致を見た停戰協定草案に對し支那人間に早くも反對運動開始され、上海各團體救國聯合會代表丁某以下六名は二十日朝九時郭泰祺を訪問し[illegible]ゼネバにおいて一再ならず日本軍が完全に撤退せざる限り停戰交涉に應ぜずと聲明し居るに拘らず、その實現を見ざる內に交涉を開くは何事かと難詰し、更に條件が國辱的なるは承知出來ぬと敦圍き現狀では蘇州から以東、揚子江以南黃浦江以北の地域は第二の滿洲となる惧れあり、政府は上海の日本軍撤退は勿論滿洲の日本軍撤退を要求し、その上で交涉を開くべきであると述べたるに對し、郭は交涉內容は目下政府に請訓中で言明出來ぬ、自分は政府の命令で交涉せるのみであると逃げたが郭代表を國賊だといきり立ち、あはや一騷動起らんとしたが警戒中のフランス租界巡捕が制止し事なきを得た、反對運動の背後には廣東派の策動ありと見られてゐる

火器の使用禁止を行つた

肉彈三勇士其他の
遺骨門司に到着
數千名の市民が出迎ふ

【門司二十日發本社特電】肉彈三勇士の遺骨をはじめ上海各地で名譽の**戰死**を遂げた下元○隊の將士百五十五勇士の遺骨と金澤師團の第七聯隊の小野少佐はじめ一六七勇士の遺骨並に戰傷兵一五八名を乘せた病院船新羅丸は吹雪を混へた激しい風浪の中を本日午後三時四十分門司入港聯隊岸壁に横付けしたが航海中天然痘を發した兵が一名あつたので同船と交通は遮斷され檢疫指揮官間瀨口大尉以下多數兵士の手に捧げられた**遺骨**一五五個つぎつぎに[illegible]上に設けられた祭壇へと運ばれた、肉彈三勇士の遺族はじめ多數の遺族と數千名の門司市民は聯隊岸壁に堵列して[illegible]出迎へたかくて五時半から神式で莊嚴なる慰靈祭が行はれ遺族はじめ要塞司令官、市長、聯隊長、檢疫局長その他官民を數[illegible]を捧げた、遺骨は今夜同所に安置し二十一日午前九時より更に佛式で慰靈祭を行ひ午後一時二十分門司發臨時列車で各聯隊地に向ひ新羅丸は宇品へ向ふことになつた、[illegible]行進の鐵條網

破壞に殊り第一班(三名一組として三組で九名)を指揮し途中四名斃れたので飛身鐵條網に辿りつき手榴彈十個を投じさらに銃をもつて幅二メートル深さ四米を破壞せる馬田軍曹は元氣で[illegible]しながら當時の模樣を語つた、鄕下元少將以下○團司令部岡本、小倉部隊其他の凱旋兵をのせた笠置丸は今夜(二十日)十一時又門司の○部隊その他を乘せた邏海丸は今夜八時關門海峽通過宇品に向ふ筈である

善通寺○團司令部
凱旋の途に就く
戰死者の遺骨も歸還

【上海二十一日發電通】三月初旬○○○岸に上陸して敵の側面を衝き敵軍潰走の端を開いた善通寺○師團司令部と歩兵○○○隊の一部は○○日○○丸で意氣揚々凱旋の途に就いた○隊の戰死將校五名、下士官八名、兵二十二名計三十五名の遺骨も同船にて還送の筈

派遣軍人遺家族救護協議會

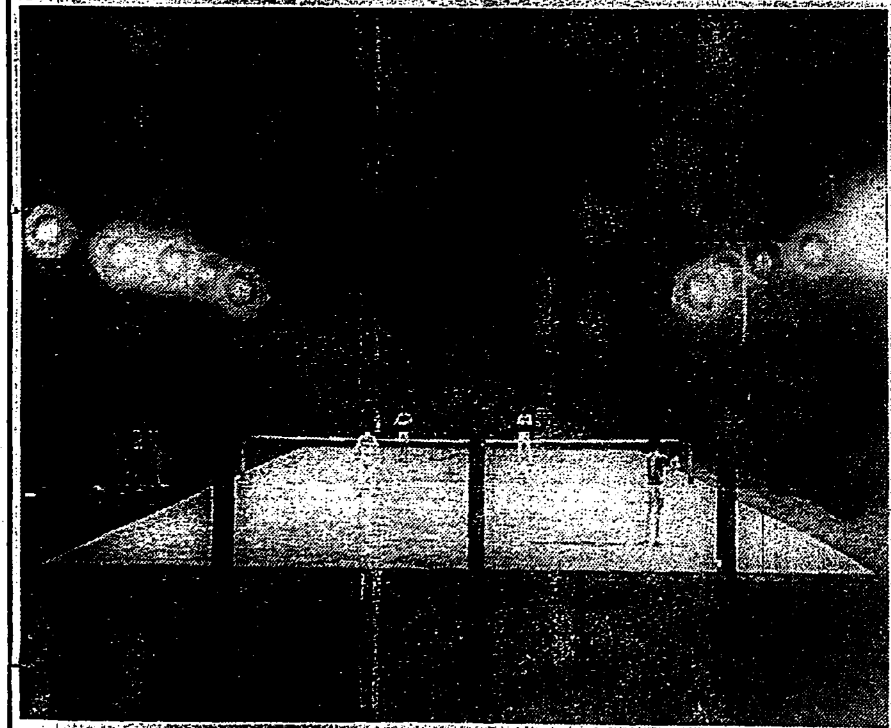
【東京二十日發電通】滿洲、上海事變に依る出征軍人の遺族、家族救護に付き陸海軍各關係民間團體と連絡統一を圖る爲め內務省では十九日午後派遣軍人遺家族救護協議會を內相官邸に開催し內務、陸軍、海軍、民間諸團體より夫々關係代表者出席協議の結果現在は各地方長官を中心に各團體市町村當局に連絡して救護事業に當つてゐるが今後は中央地方を通じ關係當局並に各團體間に完全な連絡統一を取り一層萬全を期する、之が爲め出席各官廳團體代表者を以て「軍事救護協議委員會」を設置し必要に應じ隨時會合し又他の團體の參加を求めると云ふに一決し和氣藹々裡に晚餐を共にし午後八時過散會した

清和健兒團
營內生活
全團員喜ぶ

【東京二十日發本社特電】永田市長を名譽團長とし市役所の給仕青年五十名を以つて組織されてゐる清和健兒團は二十日午前九時から赤坂[illegible]一般人[illegible]に關する知識を注入[illegible]

故山下君の
町內葬
今月末頃か來月初め

上海に於て壯烈なる戰死を遂げた市內表町山下[illegible]君の遺骨は本月二十二日頃內地へ着する筈で所屬の第九師團に於て軍隊の葬儀[illegible]濟み次第出迎へ中の父君に護られ臺北へ戻ることになつてゐるから此月末か來月初め頃に町內葬を盛大に執行すべく準備中で市役所を始め各團體とも力瘤を入れて援助することになつてゐる



瀬戸山前郡守
送別會

【中壢電話】官民主催の瀬戸山前郡守の送別會は二十一日正午中壢公會堂において開催されたが會するもの二百餘名先づ發起人宋街長惜別の辭を述べ次に瀬戸山氏の謝辭があつたが主客共情つきず午後二時頃盛會裡に散會した

大工と女給が
心中を圖る
醜關係の惱みから

【基隆電話】[illegible]縣人基隆市日新町六ノ二大工岩下[illegible](二[illegible])は內緣の妻山田ヨシエが去月八日基隆醫院に入院以來カフエー「浮世」の女給である[illegible]縣人[illegible]町六三上村某內緣の妻松谷ミツ子(三[illegible])と情交關係を結んでゐたが、先月十七日ヨシエの退院と同時に醜い內輪關係のゴタ〱に惱み續け更にヨシエが[illegible]の上家出してからは醜い關係が明るみにさらけ出され友人からも意見されるので遂に意を決しミツ子を誘つて二十日午前十一時五十分頃猫イラズを嚥下心中をはかり苦悶してゐる所を附近の者に發見され直に基隆醫院に擔込まれて目下加療中であるが、嚥下量が少なかつたため兩名とも生命に別條はない

新驛開始と
列車時刻一部改正
愈々四月一日から

鐵道部に於ては北部地方のガソリンカー運轉區間に新に停車場を設け地方交通の便を圖るべく豫て計畫中であつたが愈々來る四月一日より左記三停車場の營業を開始することゝなつたから從來不便を訴へつゝあつた此の附近住民としては商取引其の他一般に頗る便利となつた譯である

北五堵驛（七堵五堵間）
江子翠驛（萬華板橋間）
[illegible]洲驛（板橋[illegible]林間）

尤も此の停車場は旅客取扱上の

簡易な

設備をしたもので手小荷物は取扱はないことになつて居る、右新驛開業に伴つて基隆、桃園間に運轉して居るガソリンカーの時刻を改正したが下り臺北發午後三時六分の一〇一五號動車を三時三十四分發に繰上げられた外は大體從來のものを基準としたから各驛共其時分に多少前後するものもあるも大した相違はない次は平溪線、集集線の時刻改正である、縱貫線は一昨年の改正で速度が非常に速やくなつたが平溪線集集線は經濟の關係で依然舊製であつたけれども今回線路の改良成り大型機關車を運轉することが出來るやうになつたので同時に時刻を改正してスピードを速やめ時代の要求に適應せしめることゝし運轉時間は從來に比し平溪線は十分乃至十九分、集集線は十七分乃至三十分

短縮さ

れることゝなつた、尚平溪線と宜蘭線との接續關係は從來多少遺憾の點があつたが今回の改正は此の點を考慮し宜蘭線の急行とも云ふべき臺北直通列車を三貂嶺驛に停車せしめ平溪線との接續を採ることゝし、又集集線は[illegible]月竣工[illegible]以來旅客著しく增加し從來の運轉回數では一般に不便なので今回の改正を機とし午後一往復を增發した結果縱貫線との接續も至極圓滑となつたから之等兩線の利用者にとつては頗る便利となつた譯である

ツェ伯號
南米へ

【フリードリッヒハーフェン二十一日發電通】ツエツペリン伯號は二十一日午前零時三十五分南米ブラジルのペルナンブコに向つて出發した

十八歲で醫大生
早教育是か非か
長崎醫大を好成績でパス
鹿兒島の伊澤政三君

【鹿兒島二十日發電通】十四歲で鹿兒島縣立[illegible]山中學を終へ其年難關の佐賀高等學校をパスして全國敎育界に衝動を與へ早敎育可否の渦卷の中にあつた伊澤政三君は高等學校一年の時病氣で休學したが其後順調に學業を續け本年[illegible]佐賀高等學校を終へ最も困難とされてゐる長崎醫科大學の入學試驗を受けたが十九日發表の結果好成績でパスした、早敎育是か非か問題は再び大きな謎を敎育界に投じた譯である、十八歲の醫科大學生伊澤君の名は又も敎育界の話題の種となつた

基隆市廳舍
落成記念展
卅一日から五日間
既に八分通りの出品

基隆市廳舍落成記念展覽會は愈々三十一日より四日迄五日間午前八時から午後四時迄開催される事に確定し既に各方面よりの出品目錄も出揃ひ市自身の出品も八分通り完成、後は飾り付けと開會を待つだけに迄至つてゐるが[illegible]よりも非常に膨大なものとなり却つて室の割當に苦心すると云ふ程の有樣で市係員もその好結果に欣躍してゐる、既にポスターは島內主要官衙、會社、集會所、各驛等に配付遊客を呼んでゐるが更に市內地圖を付した

案內狀

を各方面に發送し一層氣分を煽る筈であるとか各方面よりの出品物は何れも內外不出の珍奇な參考資料のみで殊に殖產局[illegible]特別出品の淡水、鹹水四[illegible]からなる臨時水族館及び神戸博覽會協會から讓り受け送られて來る筈の人造人間ロボットの二つは蓋し展覽會中の白眉として一般の人氣を喚する事であらう、又名所舊蹟案內、水產試驗所、容器等の實物[illegible]、メートル宣傳、公會堂の[illegible]、水[illegible]の[illegible]及び[illegible]の[illegible]等は[illegible]として始めて[illegible]れるよき催し物であり更に總商會のページエント、[illegible]其他子供角力、素人芝居、[illegible]大會、[illegible]模型飛行[illegible]會、小公學校兒童の旗行列、提灯行列、[illegible]等[illegible]澤山の餘興と共に市內の人氣を[illegible]せしむべく今から會期中の

雜沓が

豫想されてゐる程である、市中の裝飾として[illegible]前から會場迄の道筋に各商店が[illegible]をつける外[illegible]東北角には高さ五間の塔を建てて目印とする本島人側では媽祖の大祭を會期中に繰延べてはとの意見あり關係者間で協議中で[illegible]可能とあるからそれこそ形容も出來ぬ大賑ひを呈するであらう、因みに本展覽會は一部の大反對もあるが經費補充と會場整理の目的で[illegible]者のある市內學校團體、兵士等を除き一般に大人十錢子供五錢の入場料をとると

退官の
瀬戸山氏談

【中壢電話】中壢瀬戸山郡守は十八日附退官となつたが往訪の記者に語る

やあ色々お世話樣になりました二十七年間の官界生活を送つたわけですがその間先づ大過なく今日まで勤め上げた訳、過去に顧みて私の心境は朗かです、暫らく臺北方面で遊び徐ろに今後について考へやうと思ひますと多くを語らなかつた

拐帶少年を
雙溪で逮捕

【基隆電話】十九日夜基隆[illegible]庄役場[illegible]してゐる[illegible]の內地人少年がゐるのを同地分室係員が發見取調べた所行は山口[illegible]

田谷カ三一行
二十一日著臺

曲藝家田谷カ三、與世山彥士、北村米次子一行三十九名は瑞穗丸にて二十一日午前九時四十一分基隆着汽車にて臺北に下車したが一行は二十一日夜臺北放送局で放送し二十三日から榮座で開演する

盛進、川崎、日進の
三店も大賣出し

雨天つゞきの市內も新學期が目の前に來たので各商店も張り切つて[illegible]出した本町の盛進商行では[illegible]新學期[illegible]賣出しを[illegible]二十一日より[illegible]、又京町の川崎商行も[illegible]出しを開始した、[illegible]日進洋行でも春の[illegible]を[illegible]賣出しを[illegible]盛澤山で三越を向ふに廻しての大馬力である其外[illegible]、秋本、村井、大倉、[illegible]、熊村、中村等の各呉服店も夫れ〲準備中である

法政大學臺北
校友會月例會

法政大學臺北校友會月例會は二十六日午後六時より新北投[illegible]俱樂部にて開催される、會費二圓當日持參のこと、出席者は日野町三十八宋宮天坤氏迄申出られたしと

第一、第二兩高女
志願者數

第一高女及第二高女の生徒募集は二十日を以て締切つたが、志願者數左の如し

第一高女三三六名（定員二〇〇）
第二高女二七〇名（定員一〇〇）

[illegible]

臺灣電力で
親切週間の催し
けふは電氣事故なしデー

臺灣電力會社は電氣週間中特に需要家の御愛顧に酬いる爲休祭日を廢し全社總出で「サービス」を盡すべく二十日勢揃ひをなし各自部署についた、親切週間中の行事としては市內各十字路を「サービスステーション」とし「サイドカー」「トラック」「オートバイ」等に所要材料を積載し之に敏活なる電工を乘せ多數出動せしめ電球「セード類」「グローブ」「コード」「ソケット」「ホルダー」自在器「スヰッチ」「フユーズ」等の取換作業、動力の發見交換、コンセント「ブラケット」等の修理、交換「グローブ」の高水[illegible]の採取試驗、照明器具の外面試驗、電氣器具の小修理並に掃除、屋內配線の[illegible]なる[illegible]、[illegible]小修理等即時處理せしめ、又[illegible]は各自需要家を訪問し日常電氣設備上御不便の點又は取扱上御不審の點等の電氣使用上の用件を承り直ちに携帶の「サービスメモ」に記入發行して迅速に要求を果たすべく努力せしむることに成つて居る之亦の行事を圓滑に遂行せしむる爲營業所內各係を網羅する本部を置き各派出所には夫れ〱增員して大馬力を掛けて居る、尚之等行事の進行振を監督の爲臺北支店では營業部支配人、臺北營業所長等自動車で市內を驅け廻り大に電氣營業の大衆化を發揮して居る、この電氣週間は二十日から二十六日迄で二十一日は「電氣事故なしデー」を施行の筈である

夜間の庭球
とても好成績
今夏は普及しやう
緒方營業所長語る

電氣週間の行事の一つとして三月廿二日より三日間「オール臺北」の[illegible]を集め臺北新公園に於て臺灣電氣協會主催、臺灣[illegible]の後援の下に夜間テニス競技を催すことになつたことは既報の如くであるが右に付き緒方營業所長は語る

南國の臺灣、酷熱の太陽の下での運動は中々骨が折れるので若し夜間[illegible]でも出來ればと[illegible]計畫[illegible]てゐる、內地では水泳始め色々な夜間競技に照明の設備を完備してゐるが庭球は[illegible]が多いでもあらうがまだ實現されてない、電力コートでやつた結果によると非常に成績がよいから此の夏は大いに普及したいと考へてゐる

因みに庭球場の照明に使用した電燈は僅に一萬燭光といふ[illegible]程度の照明で[illegible]ない爲に案外低廉な料金であるとは何よりである（寫眞は電力コートに於ける夜間庭球）

本屋で賣る學生の靴下
男女用十八種類
菊判美裝二足入
三井物產
三省堂
[illegible]
臺灣特約店　新高堂書店

美妓揃つた鮮月樓
以前萬華の一隅にありたる遊廓高麗樓は昨秋樓主變り鮮月樓と改名最近頗る別嬪十數名の美妓を朝鮮より招へ來り遊客に對しサービス百二十パーセントの愛嬌を振ひて居る 屏東本店朝北亭も亦鮮月樓に劣らぬサービスを發揮し共に非常なる人氣を呼んで居る(廣告)

公認　東洋自動車講習所
生徒募集　晝間四月一日　夜間[illegible]　活動寫眞應用自動車解說フイルム（全十三卷）
臺北市[illegible]　所長[illegible]

痔疾患者に急告
中部肛門醫院
臺北市[illegible]　朝日館內
診察午前九時より午後四時

高級外務社員招聘
[illegible]

臺灣八景煎餅
台北新起[illegible]　電話[illegible]　勉強堂

天氣概況

[illegible]

廣告
[illegible]

ウエルカム
[illegible]

家庭欄

家庭を暗くする婦人病は何うすれば全治 一心得べき治療法

子宮病
[illegible]

ヒステリー
[illegible]

不姙症
[illegible]

月經不順
[illegible]

婦人藥として最良の中將湯
[illegible]

凡そ
[illegible]

殘月譜 (134)

志乃田廸司作

清水三重三畫

話したい話（二）

「手賀沼で見たのですが――」

「手賀沼」

鸚鵡返しに云つて、六郎右衛門は云つた。

「妙な所で見たな、他人の空似と云ふのであらう、して、矢張、彼位の年配かな？」

「いいえ、旦那さま、わたしより年上の野郎で――」

「ほう」

「炭屋の旦那なんです」

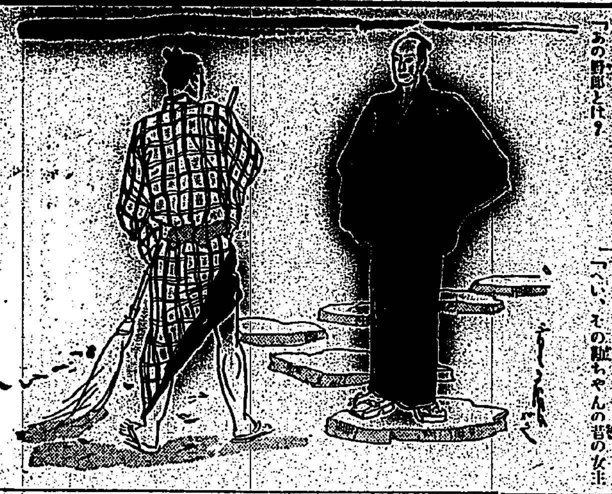
「炭屋？」

「ええ、丸龍と云ひましてね、素晴らしい身代だと云ふのですが、そいつが、をかしいぢやありませんか、それ、あの龍ちやんなんですよ」

「龍ちやんとは誰か？」

「へ、その、あの野郎で――」

「あの野郎とは？」



「それ、旦那の、眼鏡を拭きに來た野郎です」

「ふーむ、龍三か」

「へ、へい、それなんで」

「龍三が手賀沼で、炭屋を致し居る」

「はい、素晴らしい金持ですぜ」

いま～～し氣に、三千ケ浦は云つた。

「ふむ、出世をしたと見えるな」

「へい、評判も大したものです、丸龍の旦那、丸龍の旦那、でね、どうも、參つてしまひましたよ、それに、あの野郎、不屆きな奴でした、又しても、わたしの女を掻つ攫つちまいましたよ」

「これ～～」

仕様がないやうに、六郎右衛門は云つた。

「役正の前ぢや、言葉をつつしんでくれ」

「へ、へい」

頭をかいた三千ケ浦。

「どうもいけません、つい本音が出てしまつて、――」

「まあいい、で、如何致した？」

「はい、わたしが、相撲に勝ちました時に、嬉しくて夢中で、三味線を投げた女がありましてね」

「ほう、やはり、誰でも其方が勝つたらなどとは承知しないからのう」

「これは恐れ入ります、旦那さま、その女が、いいですかい、そつくり、これも、よく似て居ましたぜ」

「顔は近頃、よく似る～～と申すな」

「へい、眼が、かすんで來たかも知れませぬ」

「ふふふ」

「お父さま」

彼女が優しく呼びかけた。

「眼のかすむのはお年齢を召した方でせう？」

「さうだ～～」

六郎右衛門は頷いて。

「似てるとは誰に？」

「それ、あの方です」

と、につこり。三千ケ浦、小指を出した。

「何だ、それは？」

「へい、その龍ちやんの昔の女主人なんです」

「ほう」

「お孃さま、さう～～、おてるさまにそつくりな女でしたよ」

「涼！」

それ聞くと六郎右衛門の眉宇が急に曇つた。

「褐除は出來たかな？」

「へい、へ、だ、一寸經つて居ます」

「早くせい！」

「へい」

三千ケ浦、不承面して、尻をかいて立ち上つた。

杵屋六多惠師 引退披露會

杵屋六多惠師匠が十七日華々しく臺北座を引退し大披露演奏會を擧行した

× ×

六多惠師は大正七年渡臺して長唄三杵會なるものを組織し現在の師匠二世邦師で發會式を擧行した、それから同十年邦者の望む處となつて臺北檢の師匠となり精進今日に至つたのであるが近頃の長唄と稱するものに比較すると所謂純な少しも技巧のないケレンヤヤマがなくスラ～～と運んでゐる

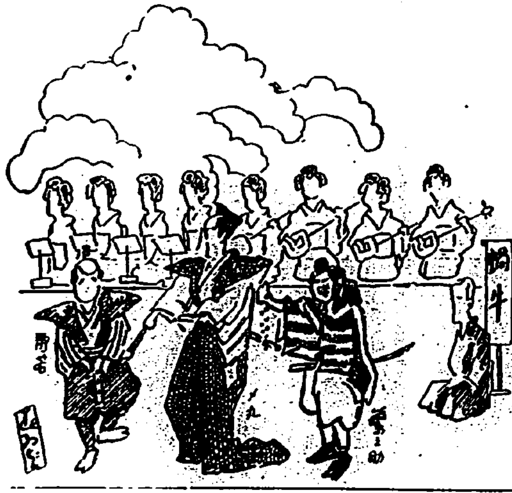
× ×

例へば芳村伊十郎と松永和風を比較しての後者とも見る可く師匠としては好適であつた

× ×

今回の出演に際しても松竹梅の如き慎り取ふものがなくなつて困り、狂頭物の一つであつた、且師は越後獅子、汐汲、老松等と共に稀しくも長唄を解するものの熟知して居るべきものであつた

× ×



去月東京研精會七百回記念演奏を日比谷音樂堂で開催した際中内蝶二氏作詞の「魚監神話」をJFAKを通して聽取した時長唄の三絃は恰も西洋樂三重奏を聽いてゐるの感があつた、出演者七十名に依つてものされた北邦眠さは榮町らしかつたが、長唄の蒔顔から見ると邪道に陷りつつあるやうにさへ思はれるこの際今六多惠師演奏會を聞くに及んで一種淋しみの中に心强さを思つた

× ×

臺北檢番連も良く物珠されてゐる、僻人々々の評は扨きとして長唄の歌詞は唄ひ良ければ多少の誤字も差支なしとしてあるものの粒と進物の如く人口に膾炙されてゐるものに至つて二、三ケ所も間違つてゐるのなどは了解りである

× ×

六多惠師が檢番より退いた今後臺灣の長唄もどうなることやら、明日から指す行れでないにしても師匠が細いことである（スケツチは演奏中の「蝸牛」當日中の白眉で點數萬點大喝采のもの）

總督府圖書館普通圖書

（三月十九日新着）

滿洲大年表	滿洲經世新報社
日本古印刷文化史	木宮泰彦
ヘーゲル哲學 獨・ローゼンクランツ著	和田治平譯
科學的家相の話	松平英明
公民教育の解說と例話	公民教育研究會
體育學精義	大谷武一
平林初之輔遺稿集	平林駒子
日本現代詩研究	百田宗治
たけくらべ評釋	鈴木敏也
父親としてのゲーテ	三井光彌
年刊小說	春山行夫
火の翼	加藤武雄
英國の秘密室 英・アストン著	岡井幸次譯
北條時宗と日蓮	澤田謙
野口英世と母の生涯	橘輝政
余の闘爭 獨・ヒットラー著	坂井隆治譯
郷土地理の調べ方と實例	西龜正夫
我が日本の教育と宗教家	東亞思想協會
刑法講義	小野清一郎
經濟原論	河津暹
日本金融の時局	高島佐一郎
マルクス主義の解說及批判 墺・シュパン著	十時彌譯
英國に於ける失業及其對策	協調會調査課
微分學要論	藤岡茂
博物學提要	岡田彌一郎
血液型と氣質	古川竹二
オートヂャイロ シエルバ著	山田誠譯
鍛錬刀及鍛之新研究	清水孝敬
アソシエーション・フットボール	島田晋
造園學	永見健一
商賣のアメリカ	清水正己
簡易化粧品の作り方	藤井勇實

東京の横顔（三）

米村耿二

ジャーナリズム樂屋咄し（上）

藤澤清造が、突然悼ましい餓死を遂げた。姿を晦したまま、忽然と家を出て、行方不明となつて以來數日の後、芝公園內六角堂で、冷たくなつてゐるのを、友人達の搜索隊に發見されたのである。彼は、このいたましい餓る死の前に、われとわが手もて、公園內の樹に縊つて、縊死をしやうとして、果さなかつたらしいのだ。

◇

我邦風俗資料、古い演劇民謠等の研究家として、明白つきりとした存在を示してゐた彼藤澤であるが古くは「根津權現裏」の作を持つ彼――さうした純文藝作家からいつの間にかうした方面の特殊研究家に、話換へして仕舞つてゐたところが、最近の彼は、ひどく貧乏だつた。

◇ ◇

ジャーナリズムは、彼のさうした素晴らしい努力とによつてつくり上げられる彼の作品に對して、用ひ話が大衆文藝の現下直木三十五の三十分の一、百五十分の一の收入すら報じなかつたのだ。藤澤清造が、文壇的には極めていい仕事を浮山に殘し、且つ創り出しつつあつたにもかかはらず、悲慘な餓死を敢てしなければならなかつた事實をみるにつけても、僕は今更ながら、しみ～～とジャーナリズムの醜い樂屋裏を、文藝壇の裏面を、思ひ出さずには居られない。

◇ ◇

翻へつて、同じ作品にしても、かの芥川龍之介の場合はどうであつたか？彼芥川は、自殺の（手段を定めた後も半ば生に執着してゐる、從つて死に飛入る爲にスプリングボードを必要とした）――と手記してゐる。しかもそのスプリングボードなるものがそれの役立ちに於いていちばんに（何と言つても女人である）と來て居るのだ。それどころではない（僕は冷やかにこの準備を終り、今はただ死と遊んでゐる）とさへ言つてゐるのを。諸君よ思ひ出して下さいよ。

◇ ◇

彼藤澤が（自殺の手段を定めた後も半ば生に執着してゐた）かどうか？彼の場合は半ばどころぢやなかつたに違ひない。發狂して家を出たとさへ言はれてゐる彼が、芝の森深く入り込んで、彼らしく古木に縄を吊るした時、彼は恐ろしく生に對しては寧ろ全面的な執着心に燃えて、爛々と眼を剝いてゐたに違ひない。その縊死の方法も、の失敗に終つてしまつた時から、のろいのろいテンポで死へ最後の距離が迫つて來るまでの――絶望で根強く激しい餓ゑと渴さへの苦痛を彼はどんな思ひで持つたことだらう？おそらくは（今はただ死と遊んでゐる）なんて、呑氣な氣持は持てなかつた彼であつたらう。

◇ ◇

僕達は、ここに芥川龍之介と藤澤清造との間に、明瞭りとした時代の姿を見ることが出來る。超スピードをもつて、移り變つてゆく時代相――殊にジャーナリズムの戰場に於いては、それは文字通り目も眩らむばかりである。昨日は戀愛小說、今日エロ、グロ、變態物とさてさうしたヒト日が、來た容もやらぬに、はや次の主題がジャーナリズムの戰場を、怒濤の如く逆卷くのだ。今度はナンセンス物だルンペン物だ實話物だ――と。そして今日此頃は、凡ゆるジャーナリズムの舞臺は、滿洲事變と上海戰爭を、フワッショの一色で、完全に塗りつぶさうとさへしてゐるのである。

◇ ◇

全くもつてああ、嗚呼、――である。さきごろ、直木三十五と三上於菟吉が、ファシズムのために大いに出くのだと言つて、め素晴らしい大見得を、錦々と大朝や東日に或は讀賣の文藝欄につづつてゐたかその大見得のオブゼクトに、一介のプロレタリア評論家大宅壯一を相手に喚いてゐたのも郎か拍子拔けの滑稽さにしても見ずであつた。それよりも、ここにジャーナリズムのいかにも如實な姿ともいへる一事實を、僕は諸君にお傳へしやう（つづく）

名家敗退將棋（五五）

（小泉氏二回勝三八月）

香落　△六段　小泉兼吉

▲五段　堀内宗善

△六六銀▲六四銀△八八角▲九八歩△九五歩▲同飛△七四飛▲九九歩成△九六歩▲同飛△九七歩▲八六飛

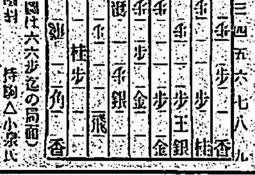
▲堀内五段曰く　六四銀の順となると敵角がおそくなつて居るので後はよい心算で唯端歩だけに用心が必要である

▲小泉六段曰く　八八角は一時間近くも考へた此處で飛を捌かないと六五歩では五五銀と出られていけない

▲堀内五段曰く　九九歩成は如何に六ケしい手が出來ても先に香を取返して置き九八飛成りと捌ければ釣合は悪くない

▲小泉六段曰く　九六歩は豫定であつたが敵に桂香を取られるし尚種種の股が殘つて閉口した

▲大崎八段講評　下手六四銀は角の力を利かして次第に位を張る意味で要は敵角の重くなつたに乘じて居る上手八八角と引いて九五歩の瞬に飛の働きを作つたは過激の様見えるが止むを得ない運びで自重しては損損が加はる



（圖は六六歩迄の局面）

持駒△小泉氏　歩歩歩

持駒▼堀内　香香

來臺した田谷一行

一流歌手ご舞踊家

舞踊、歌樂、殺陣映畫の會は愈々二十三日より四日間榮座に於て公演される、一行の顔ぶれは既報の通りであるが如何なる出演者について紹介をして見やう

田谷力三氏　歌樂家としての田谷力三氏はあまりにも有名である、氏は我邦オペラ界の第一人者で天界の淡野、ドラマチックテナー歌手としては隨一だ、彼は金龍館の歌劇華やかなりし頃は月收千圓を越えた當時松原友江氏などは其の下に働いて居た、オペラの沒落後樂壇に入り故松本里子夫人のボカールフォアのテナー歌手として活躍し其の後ビクター專屬歌手となり昨年までに吹込んだ舞臺は三十餘度、放送出演すること百三十餘回、オペラものは今迄で三十餘種の主役を演じてゐる

北村季美子孃　我邦音樂界の恩人故北村季晴氏の令孃で上野音樂學校出の女流ピアニストとして東都樂壇の人氣者昨年歿歌した歌姬宮川美子嬢や井上協子嬢の伴奏をして女流ピアノ伴奏者中の花形として知られて居る

興世山彦士氏　邦劇の人、小學校を了へて十三の時上京、清元や日本舞踊を習ひ更に露西亞舞踊を研究する事十年昭和二年十月帝國ホテルに發表會を開き翌年一月と十月に又も創作舞踊の發表をして與歌的な異彩ある舞踊家として認められてゐる智的な都會的繊細な藝風は彼獨特のもので技微を極端に排除してゐる

島洋子孃　本名は長谷田萬律子、郷里の高女卒業後興世山氏を頼つて上京、專心露西亞舞踊の研究を重ね與世山舞踊團のスターとなつて東都舞踊界に注目されてゐる、其の美しい脚線美に對し今年になつて中央生命保險に金三萬圓の保險を附し東都舞踊界に異狀のセンセーションを捲き起した

以上の外に松井晶子、二宮小夜子、池田節子、椎名强生の諸嬢、何れも異形舞踊家揃ひ一行二十數名の大一行である

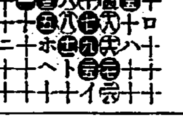
臺日聯珠

「あかごき」正解

小松原隈山出題第一回特局

▽（一七）より黑勝（三七）打揚げ△（ト）

▲（三七）勝、後「イロハ」又は「ニホヘト」



△（二四）を反對ならチリの順にて決す

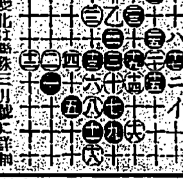
△（二四）を（二六）に飛び入に（二五）と防ぐも（二五）へ（一七）が兩落するのみにて同形に歸す

△（一七）を「ロ」なら（二四）中心の順にて決す

第二圖（二八）の變化

▲（二七）防、後（二八）又は「イロハニ」

△（二三）を「イ」なら（二三）乙への類に進み後四追



△以下の變化は特殊三月號に詳細發表せり

正解者一名もなし依つて賞品の上左の通り入賞せしむ

坂東枝（馬公）阪田文郎（死敗）西田貫太郎（天送埤）猪本珠簡（能本）

臺日俚謠

募集、何数無制限、何れも投書し得、雅名は本欄係

△出征する時母御が云ふた生きて戻るなと　大安着　なかだ

△人は武士花なら櫻散りて役こそ實を結ぶ　要港　耕舟

△他な步路も知らない里に通ふ國の眞心　臺北　邵香

△春の滿洲が旭に溶けて國に芽の吹く春が來た　臺北　無常

◎死んで名遺す日本の兵士逃げて支那兵恥殘す　臺北　あの字

（評）對句の鐵法よし

新刊紹介

△キング（四月號）「滿洲事情面白拾ばなし」「歐米大公使感話集」「新佐天荒ユーモア大合奏」「新に世に出る若き人々のために」「冠婚小說大傑作選」の五大特輯に「神通大盗り大懸賞」つきといふ特典攻め、一寸商買手のない豪勢さだ人氣花形作家を集めて、打明話を聞く大座談會も面白い思付きなら推理探偵の手記「密陣宿行」も凝つた讀物だ◇問題の大探偵小說「ドン・ギル」「白鷺決死隊の肉彈血戰記」「日本の怪談物語」「カタパルトの話」等々（一部金五十錢、東京本郷區駒込坂下町大日本雄辯會講談社）

△勞農（三月號）山名谷氏の「クラブ問題の解決と」全勞農及び全日本の任務は反動的勢力の野鬪的傾向を如何にして勞農大衆黨は何をなすべきかについて示し、三月の世界史的事件として「レーニンの兩夜」がある、（一部十錢、東京市小石川區八千代町二三勞農社）

臺日案内

料金

[illegible]

書籍　小學校教科書取次販賣　臺北新起町西門市場前　電三〇八〇　平光書店

新刊　受驗參考書　東陽堂書店

藥種商　ネオエルビン

內地土產　平野商會　電八七二番

寫眞　初春に小型活動寫眞機　臺北市榮町　西尾商店

パテー全島代理店　臺北市榮町　フタバ寫眞部

◎寫眞速成　規則書進呈　臺北市元町四丁目　朝日寫眞講習所

下宿屋　太陽館　臺北市本町三丁目　電話三〇二五

自轉車　拾九圓半より　新品自轉車　カタログ進呈　大阪田中製作所　臺北市若竹町

ラヂオ器械　オリオン受信機　（二二四）一式付金六拾五圓　臺北市京町　小林商會ラヂオ部　電三三八一

紙文房具　新學期用品の仕入は　志々田毛商會へ　臺北京町二丁目　電三八二

運送業　勉强引越運送　川村運送店　臺北州廳前　電話八二四番

自動車　電2851　市内乗車は二八五一へ

高等理髮　南華軒理髮館　臺北市京町三　市村

雜件　メガネは東京堂　時計修繕安く　臺北本局前

伊萬里燒は末源　臺北市若竹町二　卸小賣

繪絹　松久商行　臺北市京町二丁目　電話五五〇番

牛乳とパンで十五錢　一個月牛乳　電三〇一七番

組立　洋服タンス　月賦販賣　臺北市新起町日本木工部

萬金物

物の卸デパート

正價付　大阪商品　大野合名會社

寶印氷削機

好評嘖々タル無類ノ寶印氷削機

驚クベキ大安價ニテ提供ス迷ハズ是非！

特約店販賣所　カタログ進呈

大阪市西區南堀江通三丁目二七

寶屋番店

電話新町二九五三　振替大阪二四八五二

小資本で確實に儲ける

人絹友仙と

松原商店

専賣特許

淋病 內服藥 新藥 トリコ[illegible]

遠藤醫學博士　中西市井醫學士　實驗推獎

代理店　臺北 木村　臺中 丸三　嘉義 白井　臺南 角谷　高雄 辻

文獻見本進呈　郵券要十錢

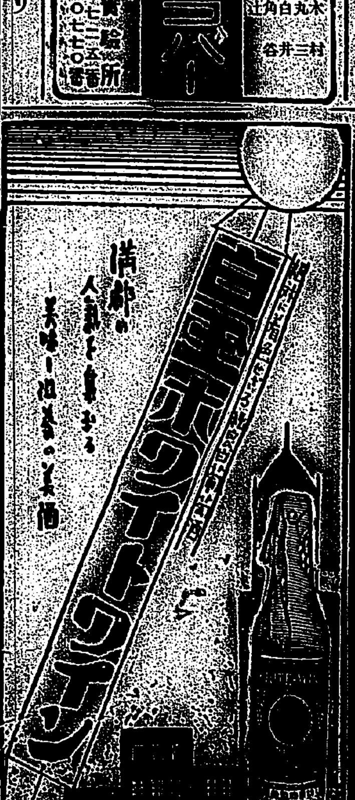
大阪市東成區大今里町　小林藥學實驗所

電話東六七二五番　振替大阪一〇七七〇番

廣告は宣傳の近道なり

ホーサン入
牛乳石鹸
牛印乳石鹸
SK.204

陽炎たちのぼる丘に野に櫻の花れんげ草――春は全く粧ひを凝らしました膚に汗ばむのもこれからですお肌の美のため健康のためぜひ牛乳石鹸をお選びなさいませ



白玉ホワイトワイン
滿都の人氣を集むる
美味―滋養の美酒

便秘にラキサトール

奥様へ密告

お松どんが、香水つけて……

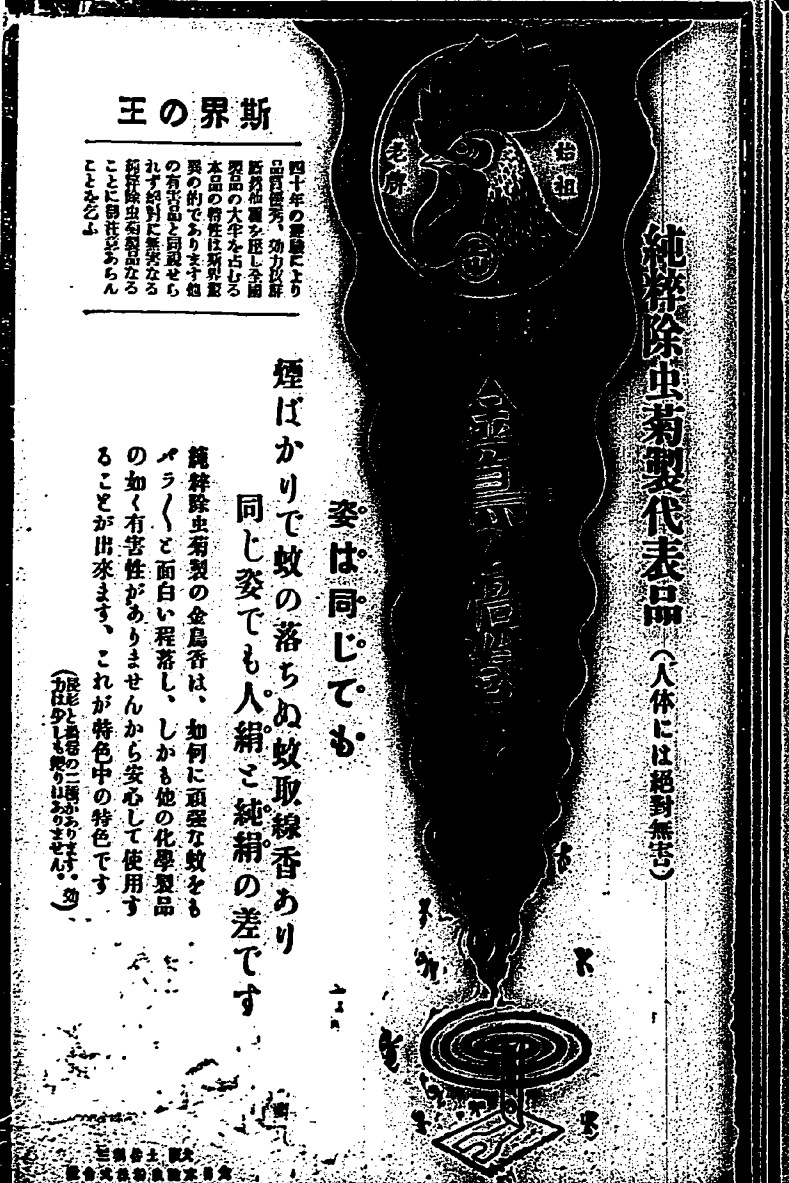
だが流石は奥にや

フン、と笑て、しかしつつましく笑つた

あれはお前、仁丹をのんでる香りですよ

ちとお前も、お松の嗜みに、お見習いよ

目下大懸賞空籤なし大賣出中



純粹除虫菊製代表品（人体には絶對無害）

斯界の王

四十年の經驗により品質優秀、効力抜群斯界の權威を保し全國製品の大半を占むる本品の特性は斯界驚異の的でありますゆ他の有害品と同視せられず絶對に無害なる純粹除虫菊製品なることに御注意あらんことを乞ふ

姿は同じでも

煙ばかりで蚊の落ちぬ蚊取線香あり

同じ姿でも人絹と純絹の差です

純粹除虫菊製の金鳥香は、如何に頑强な蚊をもバラ～～と面白い程落し、しかも他の化學製品の如く有害性がありませんから安心して使用することが出來ます、これが特色中の特色です

（品質と效力の二種がありますが效力は少しも變りはありません）

漢文臺灣日日新報

開院式無事終了
衆議院本會議
討論議長黨籍問題

二十日東京電。開院式無事終了。二十日衆議院本會議。午前十一時二十五分開會。議場政友席所有顏色。大臣政務次官券與官之禮服。金光燦然。民政議席。惟高橋是太郎少將一人著金光禮服而已。久原政友幹事長穿制服。特放異彩。是日議席變更。政友會首腦部席移于議場中央。舊院野黨。示絕對多數威力。秋田議長着席宣言。新開奉答文議事。依慣例。奉答文起草委員指名十八名。於別室起草。一旦休憩。時十一時二十七分。

午後零時十五分再開。奉答文起草委員長濱田國松氏（政友）登壇。朗讀奉答文案。議長使起立以表贊否。滿場總起立。拍手稱可決。大東武氏外三十名所提出之對于陸海軍將士感謝決議案。滿場一致可決。求大角海相發言。表感謝之意。次荒木陸相。謂上海之勇敢戰鬪。我軍得行。一般國民之後援。今者內外重大危機。我等須以渾身努力。對東洋正義認識不足之諸外國。宜使知我國眞意。零時三十八分休憩。

休憩後衆議院本會議。午後二時四十五分再開。關於正副議長之黨籍離脫問題。求發言議事進行。工藤鐵男氏（民政）登壇。議長黨籍離脫之事。大正十四年。護憲三派。一致決議之。而其提出者。乃憲政會小山松壽政友會之岩崎勳。革新俱樂部之林田龜太郎三君。正副議長。爲期是正公平。須離脫黨籍全會一致決議之。然據新聞所報。秋田議長。乃政友會所選舉。故無離脫黨籍必要。秋田君乃贊成大正十四年決議之有力者。而今日云不離脫黨籍。抑何故歟。若無離脫黨籍意思。則今回須改院議也。

秋田議長。工藤君謂余言藤澤元議長。作民政黨議長不公平。余爲政友會所選議長。乃事實無根。勿論議長須最正公平。此不關于政黨有無席位。乃依議長之決意如何。非不離脫黨籍。使不公平。大正十四年決議。乃爲希望。非強請者。略爲慣例之實質上效力可疑。私亦欲留惡例。玆明言不脫黨籍。民政席騷然。

植原副議長。黨籍余亦不離脫。然職務遂行。必最正公平。

工藤氏再登壇。大正十四年決議。乃希望決議。全會一致之政友會先輩粕谷議長。豈不離脫黨籍。欲知秋田君對此前例之決意。

秋田議長。私不離脫黨籍。其精神非無視前回院議。次選擧全院委員長。投票結果。

投票總數　三四三（內無效二）

二三三票　廣瀨爲久（政友）

一〇七票　戶井嘉作（民政）

廣瀨氏當選全院委員長。爲選擧常任委員長。午後三時五十七分休憩。

西螺土庫斗南産米
著著迫近中北部
前年産額亦大增

斗南。西螺。土庫等三地方。因地居臺南州管內。故其產米。亦屬臺南州。買賣在中北部以下。殊以爲憾。近來州郡及當業者。對米質改善。異常努力。如品種改善。使用護模土塊。設置火力乾燥場等。著々迫近中北部米。且更進欲凌駕中部米。尙爲努力不怠。又包含此等地方之斗南米穀檢查所管內。蓬萊種耕作面積。顯形增加。如六年晚季。臺中六五號及蓬萊三井一號耕作面積。占全體三成五分。而本年早季。殆全部耕作二者。且惡品種已絕跡。該躍進狀況。觀同出張所檢查袋數自明。而六年檢査袋數十九萬袋。比四年十二萬九千袋。異常增加。此等地方產米。在本島產米中。認爲優良米。當不遠也。

民政黨
全院委員長
各候補者

二十日東京電。民政黨全院委員長常任委員長各候補者。並理事決定如左。

▲全院委員長　戶井嘉作

▲豫算委員長　飯塚春太郎

理事工藤鐵男。土屋清三郎。田中貢。

▲決算委員長　中村繼男

理事野中徹也。松田竹千代

▲請願委員長　永田善三郎

理事手代木隆吉。森峰一

▲懲罰委員長　平川松太郎

理事濱野徹太郎。佐藤理吉。

程志遠旅團起兵變
各奪銃砲而走
程軍一部追擊奪回

二十日齊々哈爾電。北寧年附近一帶駐屯之程志遠旅團騎兵約四十名。十九日起兵變。各奪小銃及山砲四門逃走。程軍一部。追擊奪回之。右學良丁超。李杜等。一派不逞分子。於滿洲新國家成立。從來軍隊解散。種々惡宣傳。圖軍隊擾亂也。

錦州西方馬賊團
與學良惡黨結託
乘暗夜襲擊

二十日錦州電。錦州西方蟠居之馬賊團。與學良派遣不良分子結託。乘暗夜襲擊乘客。發各種謠言。且向列車發砲。以種々方法。擾亂人心。欲擾亂地方。今朝二時半。發錦州向山海關。因馬賊剝去軌道。貨物列車四輛及機關車脫線。乘務員幸無死傷。錦州西方不安猶未除。

欲使法相轉爲內相
犬養首相其意似決

二十日東京電。犬養首相。鑒于久原幹事長以下反鈴木系反對。因中橋氏辭職之內閣改造。延至臨時議會後。同議會以二十五日終了。此議會後之內閣改造形勢。非常注視。而依此改造。有閣員與黨內起動搖。雖得絕對多數。亦無意味。犬養首相。擬愼重措置。十九日午後五時。森書記官長。久原氏邸。求種々諒解。首相自身。於午後六時頃。會見三土遞相。就改造問題懇談。次受久原幹事長訪問。愼重懇談。犬養首相。似欲使鈴木法相爲內相也

樺山町料理店命案
五壯漢慘殺一人

臺北市樺山町。去十九日夜十時。有本島人五人。慘殺一人。被害者爲臺北市浮町一六七番地土水匠黃桂（年二十八）之使用人楊狗屎。年二十三。加害者。爲臺北市樺山町二十二番之三。料理業樺山樓主長男楊金木。（年三十五）三男楊金龍。（年三十）四男楊金財。（年二十八）五男楊金土（年二十六）兄弟四人。與料理人中華人吳圳。年二十六。五人。金財。金土兩人。十九日夜。在現場。金龍。二十早。在市外三張犁逮捕。金木。與吳圳兩名。事件發生後。早已逃去。經當局嚴搜中。

殺害動機
爲提燈貸借關係

慘殺動機。爲被害者楊狗屎。去十九日夜九時半。偕其主人黃桂。乘自轉車欲往大稻埕。狗屎因無車燈。乃往加害者宅樺山樓向借提燈。被其拒絕。斯時狗屎。帶著酒氣。向同樓料理人吳圳之手。濫奪提燈。携往隣家雜貨店。購贖燈。吳乃訴於黃。黃遂追狗屎。將燈取回交還。然狗屎。再奔歸。聲言欲扯破該提燈。追其家人至廚房。互相口角。前記兄弟四人中。金木。金財。大憤。持銳利菜刀。其他三人。或以棒。或以火箸。亂斬狗屎卽時斃命。加害者等。慘殺狗屎後。長男金木。在門前。三男金龍。赴樺山派出所報出。是時適南署防犯係李刑事聞知此事。急到現場。因犯人在樓上。急跑上樓。金財。金土兩名。復以器物擲李。或持要拒捕。致該刑事。顏面其他數處負傷。李同派之派出所巡查趕到應援。乃得將金財。金土逮捕。又金木。金龍。吳圳三人由現場逃脫。

久保博士
檢證死體
兇器計五種

對於樺山町命案。柳澤檢察官。二十日午前十時。偕南署三浦警部補。往現場檢證後。將死體搬往赤十字病院。請久保博士檢證。查明被害者之傷。頭部三處。胸部一處。左右內股一處。其他多打撲傷。致命傷爲動脈切斷。左內股之傷。及睾丸。又使用兇器。計有五種。由被害者之傷口。可以證明云。

逃去三名中
一名就縛

事件發生同時。南署三浦警部補。到現場臨檢。搜查逃去犯人。迨二十早三男金龍。逃至市內大安日華紡績工場。被刑事發見。追至三張犁山麓捕住。又金木。吳圳兩名。尙未逮捕。

滿洲事件費
發行公債
法律案

二十日東京電。二十日提出于衆議院之滿洲事件經費支辦所關公債發行法律案如左。

爲滿洲事變所關經費支辦。政府依昭和七年勅令第六號第十四號第十九號。於起債金額之外。限六千七百五十萬圓。得以發行公債。或借入金也。依前項規定。爲補塡公債發行價格差減額。於必要時。前項制限以外。發行公債。或借入金。附則本法自公布之日起施行

田端、竹下、今川
三氏發東京
按廿四日抵臺

二十日東京支局電。今回新任竹下臺中州知事。去二十日下午八時二十五分。田端專賣局長。今川臺南州知事。同下午九時二十五分。各發東京驛赴任。有喜多代議士。拓務次官竹屋子爵。其他多數送行。又今川氏夫人。及令公子同伴。一行在神戶。會小濱內務。同搭二十一日便輪赴任地。按二十四日下午抵臺云。

臺北州下
新茶上市
品質甚好

臺北州下產茶。例年以淡水郡下。首先登市。目下已屆新茶上市期。去二十日。臺灣茶共同販賣所。經運到新茶。委託販賣。係淡水郡三芝庄陳曆坑茶業公司出貨。其種類爲包種茶。數量六十三斤。品質爲中茶之最佳者。此爲本年早茶之上市。而現貨因茶館尙未開辦。販賣所將乘機出賣。又昨年早茶上茶。在三月十七日。而本年自一月以來。氣候溫暖。初料新茶出貨。或稍早于前年。嗣爲數日來之天候不佳。結局比昨年緩三日云

赤司初太郎氏
宴南總督
及臺灣關係者

二十日東京支局特電。赤司初太郎氏。去十九日下午六時。來邀南總督爲主賓。森官長。加藤。堀切兩拓務次官。新任各局長及知事。各當選代議士。並在東京臺灣關係者三十餘名。在築地新喜樂。開晚餐會。席上赤司氏起立敘述開發臺灣產業意見。其對于是。有南總督。述謝。宴開。盡歡至同九時頃散會。

苦吟僧入定、得句將成功、（全島聯吟大會席上）萬綠叢中數點紅、女詩人亦復柳絮才高、

花蓮港農會
第一回養鷄
品評會

農會花蓮港支會主催。第一回養鷄品評會。去二十日午後一時。開于花蓮[illegible]野技師。[illegible]賞品。[illegible]農會支會長。送式辭。農會長代理廣谷庶務課長訓示。來賓宮崎街長。吉村商工會副會長述祝。出品人總代。象永慶三郎氏述答辭。式畢。入賞者如左。

一等白色美國種。宮本佐吉。同名古屋種。中島富吉。二等白色美國種。中島富吉外三名。三等白色美國種。安達竹雄外七名。四等白色美國種。吉野小學校外十一名。五等白色美國種。吉田壽人外十三名。

屏郡下校園
現地品評

屏東郡下公學校現地品評會。去十九日下午一時。開于屏東公學校。井上農業學校教諭。報告審査後。由教育會長。授與左記五校褒賞式畢。受賞校如下。屏東、麟洛、里港、鹽埔、六龜。

全島聯吟會續報
映寫活寫爲餘興
第一日至午前一時閉會

旣報全島聯吟大會。去二十日午後一時。開于大龍峒孔子廟。出席者計二百八十名。午後四時半。交卷後。山本社寫眞班撮影紀念。來賓中。內地人詩人小松吉久。尾崎秀眞。及李顯榮諸氏。亦復來會。迨七時過開宴。並於廟前映寫活動寫眞。以爲餘興。八時宴散。由詞宗閱卷。至十時過。榜發。首唱七律春寒（一東）。[illegible]

次唱七絕報午機（十灰）。爲魏潤菴。黃春潮兩氏掄元。對前茅左右各八十名。由主催社幹部。一々奉呈賞品。及副賞。迨至午前一時。始於盛會裡閉會。又是日[illegible]寄附者。小松吉久。蔡彬淮兩氏各五元。李顯榮氏。再寄附銀杯四箇。爲第二日賞品。大司洋行[illegible]醫院簡朗山氏寄贈[illegible]第二日之副賞[illegible]

朴子女公畢業

東石郡朴子女公。本科第九回補習科第一回卒業式。於去二十日午前十時起。在同校舉行。監督官森安庶務課長。來賓黃街長。並街各學校官衙長等。多數列席。由主席訓導陳良仁君。報告學事後。宮崎校長。對本科卒業生四十四名。補習科修了生三十八名。授與證書。對成績優等。及精勤生。授與賞狀及賞品。又次森安課長。對本科優等生陳氏香蕊。授與閑院宮。北白川宮獎學資金賞。對補習科優等生。黃氏炎柳。授與郡守賞。畢行訓辭。來賓黃街長。鄭商工會長祝辭。卒業生總代。黃氏炎柳。答辭。十一時十五分。終了閉式。又本年度同校出席。成績賞。精勤賞俱各較他校頗佳云。

出席步合　平均九七、九六

成績賞　進級者一〇、二〇

精勤賞　進級者四六、四五

友部警務局長
視察鵝鑾鼻

友部警務局長。視察[illegible]方面告畢。去二十日下午三時四十四分。抵高雄。休憩于港口官舍。搭同八時三十六分向臺南。

竹州下産組
業績統計

新竹州下。產業組合五十三。據客臘末日產業組合之現況統計。組合員人數一二、九五四人。一組合之平均人員二四四人。出資口數九〇二九八口。繳畢金額一一四八、九一六圓。準備金及積立金。共一〇〇六、七六三圓。貸附金四三五一、〇四九圓。貯金二七七一、七七六圓。販賣金額二三三〇、六六一圓。購買金五五七、三三一圓。利用料金八〇、三〇九圓。貸出利息分歩。最高四錢四厘。最低一錢

名間清潔日程

南投郡下名間庄。春季大清潔法施行日程如左。但遇雨則更定日期延之。[illegible]月二十[illegible]日。[illegible]新街。[illegible]寮一回。[illegible]二十四日[illegible]一回。[illegible]月二十五日。下新厝。田仔一回。三月二十六日。赤水第一區。皮子寮一回。三月二十八日。赤水第二區。弓鞋一回。三月二十九日。松柏坑一回。三月三十日。頂新厝一回。四月一日。名間。濁水。炭寮一回。

自三奶壇
至翠屏岩
道路開通祝賀

高雄州鳳山郡仁武庄三奶壇。所著名之觀音山翠屏岩。自開基以來。將達二百餘年。該山風景髣秀。稱鳳山八景中之一。遠地人士。來遊者。頗不乏人。顧自二三年來。該地方人民。爲關心農耕。反忘記該岩名勝。近而由該庄有志。聯絡庄中七保。計七百餘戶。合同一致。自三月八日起。每日義務出役。自三奶壇至翠屏岩之道路。延長二十三町。特擴張三間幅。業已成就。去二十日午前十時起。在觀音山舉行道路開通祝賀會。

鹽小公幼園
卒修業兩式

▲新營郡鹽水小學校卒業並幼稚園修了式。去十九日午前十一時二十五分舉行。平井郡守代理。阿部工場長。山田公醫。及保護者等。多數臨場。依例舉式。米山校長。對卒業生高等科四名。尋常科十一名。保育修了者十六名。各總代一括證書。及賞狀授與並訓告。次平井庶務課長。對重久和子外二名。授與郡守賞。及訓示。次內田保護者總代謝辭。卒業生總代重久和子答辭。下午一時閉式。學業成績全校甲乙以上。丙丁皆無云

▲又同鹽水公學校卒業。及幼稚園修了式。十九日午前九時舉行。平井庶務課長。及來賓保護者等。多數列席。新川校長。對高等科卒業生二十二名。總代郭福千。本科七十七名。總代洪先貴。保育修了者十二名。總代陳達雄等。各一括。授與證書並賞狀。及訓告。平井郡守代理。對洪先貴。授富殿下賞。對郭福千。楊氏世足。授郡守賞。授及賞品。次一場訓示畢。陳和淮寺二氏。相繼述祝。高等科郭福千。本科洪先貴。幼稚園陳達雄等。總代答辭。至十時五十分。式畢。一同紀念撮影。本期卒業生計九十九名。其中希望入上級學校者。嘉農五。屏農一。長老教一。南二中一。工業二。高等科二六。就農一〇。就商一〇。就職希望二七。未定一六名。卒業生優等賞八。操行賞三。學術賞二。皆勤賞六個年二。五個年一。四個年一。三個年四。二個年五。一個年九。精勤賞一二等十一名。該校授業日數二四九日。出席步合。百分之九十五。一四。與前年度略同云。

三角窓派所巡查
設賭及大受賄事件
懲戒免職後留置取調

一時聳動社會注目之高雄州鳳山郡鳳山街三角窓派出所勤務巡查陳古。年三十五。前后勤務十餘星霜。近發生收賄不祥事件。月十六日。突被上峯。命以助勤汕尾派出所。旋卽開始活動。結果逮捕贈賄者並幇助收賄者。計二十餘名。由佐藤警部補。日夜繼續究問後。於十九日午前。拘陳巡查歸廳。在樓上祕密取調。翌二十日。由池田郡守處以懲戒免。隨卽留置。細查其收賄動機。陳保昭和六年度。由大林蒲轉勤三角窓勤務以來。與鳳山街草店尾人。賭博常習者。李再添結識。故二人共謀。密作賭場于再添自宅。兩人均分。貪得不義之財。爲是他處賭博。由李密告于陳往捕。一面李更督諸賭徒幹旋。募集金員。運動息事。故如本年一月頃。李之近隣。有大寮庄赤崁人。劉入。與同庄拷潭人林氏梗。兩人開賭四色牌中。被陳發覺。當場收賄四十圓。且去年十二月中。鳳山郡鳳山街人。惡仔及山子頂水枝並周仔。衆田草埔人黃科。以上四名。在田仔下玉枝之住宅。賭四色牌。被陳發見。欲掩上峰耳目。四名之中。僅告發黃科及周仔二人。被當局罰金七十圓。而賭博常習者。惡仔水枝二人。特不告發。收賄四十圓。諸如此類者。以外凡十餘件。備受一般之指摘。據聞此種鳥巡。他處亦多其人。但不敢如古之過於明目張膽云。

蘇澳猴々間
乘合車
顚落田間

蘇澳猴々間。雨森寅五郎之乘合車。去十九日午前七時五十分由運轉手常聰明。年二十四操縱。自蘇澳發車。至猴々陳米福店前。因運轉手不注意。顚落田間。乘客二名。及車掌運轉手。幸皆無事。蘇澳郡警察課長。派[illegible]水野部[illegible]捕。池畑保安係等。急丸隆貨物車。急赴現場偵查。山司法係訊問中。聞該運轉手。當於運轉中。去歌唱曲。不顧乘客生命。前亦分在。馬養附近。顚落于田間。此爲第二次云

基隆座上演
義捐市民劇

基隆文藝協會及基隆料理屋組合。基隆檢番等。合同主催。自去二十日起三日間。每日午後五時起。於基隆座。開演義捐市民劇。其收益全部寄附國防費之一端。即爲內所募集之飛機購入費。其上演藝題。寸劇。歌舞伎。與州安達原。社會劇。軍事劇等云。

紅柴林
蔗園死屍
州課長檢證

羅東郡三星庄字紅柴林。陳阿土蔗園中。去三月十五日午後三時頃。劉新時發見死屍一具。卽報於派出所。係官及公醫。臨場檢閱。見其身內。有印章一箇。刻李阿劉。而死者年約五十七八。因拘殺害被疑者。李阿春。年六十一取調。去十六日。羅東警察課長。及刑事係。臨場檢查。死因不明。疑爲他殺。目下祕密大搜査中。去三月十九日。州刑事課長賓地臨檢。又發見遺物。衣褲一著。印章一個。外蚕一枚。死後經過約四十日間云。

皮包失去

鳳山郡林園庄苦苓脚字王公廟人顏萬成。年二十五。月十七日午後六時半頃。在其自宅附近作業中。紛失皮包一個。內藏臺灣票拾六圓。立報于該地林園警察官吏派出所云。

南投

募人觀櫻

春光明媚。正好遊春。濁水驛長某。素有登山癖。常此阿里山嶺。櫻花盛放。擬欲窮其境。然獨遊無味。經託名間庄役場。代爲募集登山團。一行擬二十名。行程三日間。旅費十二圓。人數若足。定來三月三十五日啓程。

學校移轉

名間庄皮子寮公學校。爰已新築於大道邊。而月告竣。已將五六年生。先爲移徙。月十九日。全部又轉入新校矣。

籌備落成

皮子寮公學校。新築既竣。且已轉徙開校。在庄當局。以爲有此壯麗之建築物。非大擧行落成式不可。目前召集區委員其他有志。多數在庄役場會議。其結成之行方。及寄附金[illegible]方法。經大略決定。俟附金一有成數。再行擇日舉式云。

自働不通

南投田中間道路[illegible]告竣。南投赤水間。亦未[illegible]小石。足以一週間[illegible]則泥濘沒踝。自働車時不通。往來者苦之。

羅東

媽祖祭典

羅東奠安宮廟。依例。舊定來二十三日。卽舊曆二十七日。迎請北港朝天宮媽祖。自是日起至二十八日七日間。執大舉聖母祭典。

業佃日程

羅東郡下。一街三庄業佃會。依左記日程。各自舉後一時起。開定期總代會。

▲二十六日羅東。

▲二十七日五結。

▲二十八日三星。午後一時

▲二十九日冬山。

然羅東郡聯合業佃會之總會。則定三十日。開于羅東郡役所。

會事

▲嘉義諸峰醫院產婆講習所本年卒業生三十五名。優等生三名。定二十七日午後二時。在同所講堂。舉卒業式。卒業生中。約二十名。擬于四月六日。赴臺南檢定。又新年度講習生。決定募集四十名。四月中旬入學。入學資明。至四月五日云。

▲嘉義郡下理髮業者講習會。訂來二十五日起三日間。假同郡警務課訓示室舉行。講習員約百名。講師臺南州衞生課山田保保長及阿部技師。

▲鳳山郡大樹庄大樹信用購買組合之役員會。月十九日午前九時頃。在該組合事務所內舉行。協議事項。爲新組合員勸誘。及書記採用二件。

人事

▲臺北張良玉氏。來二十二日。將與同市李彿鉄氏姪女彩鳳孃。舉結婚式。

▲友部警務局長。偕神川屬。二十日午後四時七分。自高雄由新營驛下車。又佐野警察課長前導。一行到關子嶺。視察溫泉。同夜急行北上歸北。

▲豐原八仙山營林所出張所長福本林作氏。今回退官。欲歸鄉里東京小石川區。豐原素心會員。去十八日。午後六時。在寄街富山閣旅亭。爲氏開送別宴。會員五十餘名。福本氏搭二十日北上快車。擬豐原。二十一日便船歸內地。

臺灣日日新報

本日夕刊共八頁

婦人公論

嵐の前に立つ日本の姿　麻生久

二百號記念の感想　安部磯雄　平塚明子

柩におくる　阿部ツヤコ

残んの花の悩ましさ
秘めて交せし口づけに
戀の絆のたちがたく
身も世もあらぬいばら道

ああ偽れる此の喪服
脱いでしまへば裸身の
人よ女よ愛欲に
もだえて哭いて死ぬばかり

古き掟にしひられて
心にもなくよそほへど
喪服さびしい肌ざはり
なぜか眠れぬ夜がつづく

夫婦讀本　佐藤春夫

春宵譜（歌麿の心を歌へる）　吉井勇

奥の細道　小宮豊隆

妻よ眠れるか

前拓相　松田源治

新代議士は……語る　第三特輯　回答　福田宗兒　保坂孝雄

姙娠から安産まで

■女中指南術

■姙婦心得帖

■百萬圓はいつも百萬圓か　森一樹

支那と列國

◇支那とはどういふ國か　◇支那を觀る　◇上海事件と諸外國の權益　◇支那はどうなるか

★女學校卒業時代　★戀愛模索時代　★見合時代　★新妻時代　★若き母の時代　★生活倦怠時代　★生活安定時代

怖るべき春の病氣と手當

悩ましき春の夜の思ひ出

雜誌界にその權威を誇る婦人公論の小說欄　細田民樹

吉川英治氏の力作　戰國後家

宇野千代、北村小松、下村千秋氏執筆

夫婦十種物語

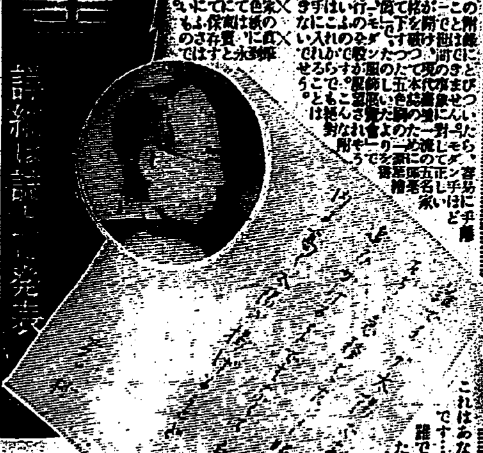
別冊附錄　モダン「手ほどき」

現代五名家執筆　五色刷繪封筒

モダン服飾展覽會

愛讀者へ名家直筆絶品二千枚贈呈

詳細は誌上に發表



これはあなた方にさしあげる色紙の一枚です

誰でもが太陽であり得る。わたしたちの念願は、ただ〳〵眼前の太陽を追ひかけることではなくて自分等の内に高く太陽を掲げることだ。

特價　七十錢

東京丸ビル　中央公論社　發行

・各帝國大學病院指定常備藥・

補血強壯增進劑　ブルトーゼ

春の芽生えに
氣もわかやぐ

ブルトーゼは早老を防ぎ精力と活力を增して潑溂たる體軀となしやがてらんまんの春と共に朗かな健康に輝く

今服むブルトーゼは病氣の快復は勿論成長發育を助長しその効果頗る偉大です

B—15

株式會社藤澤友吉商店　大阪道修町二

夜の王様・輝く明光

赤ちゃんにー番いゝ國產の粉ミルク

キノミール

豊かな肉附きが
その血色が……
キノミールの
無類な品質を
保證します

詳細說明書見本進呈

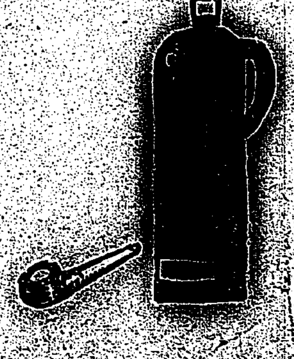
東京・神田・大阪・

株式會社和光堂

タバコのみの

歯磨スモカ

此はみがき
無味乾燥したる物ならず
粉末に程よき潤ひありて
襟に散乱落花の狼藉なし



定價十五錢　何處の小賣店にもあり

仁丹

わしの持藥

が机の上にあるから……
と、いつも新社員に訓話して
きて、仁丹を持って來るかどうか
頭の働きを試驗するのが此の重役の癖

目下大懸賞（空籤なし）大賣出中

一回効散

歯痛と頭痛にのんできく

昭和家藥株式會社

大阪商船

日本郵船

日支兩國の滿足とする
基礎案遂に成立
愈よ二十三日午前十時から
正式會議を開催

【上海二十一日發電通至急報】停戰交渉は午後四時より開始され、同六時散會したが、この會合で遂に日支兩國の滿足とする基礎案成立し、二十三日午前十時から正式會議を開催するに決定した

假調印した基礎案

【上海二十一日發聯合至急報】本日の豫備交渉に於て假調印を了した基礎案は左の通り

一、後日の取決めあるまで支那軍は現在の地に留まる

二、日本軍はプログラムによつて撤退する

三、混合委員會を組織し前記三項を監視す

特別警察團の組織を主張

【上海二十一日發電通】重光公使と郭泰祺の停戰交渉は英、米、佛、伊公使立會の下に午後四時英總領事館で開會、日本側は呉淞、上海の線に撤收すると主張する外、外人を高級武官とする支那警察官をもつてする特別警察團を組織して撤退區域の治安維持に當らしむべきを主張するに決してゐる、尚後者は十九日の案では脚註として書かれ決定されてゐないものである

支那側は獨力警備に修正か

【上海二十一日發電通】十九日の案に對しては支那側も修正を爲すに決したと報ぜられるが、特別警察團の組織に當り外國官憲の指揮を受くるを不滿として支那側で獨力警備すると修正するに決したと傳ぜらる、會議は午後四時から開始するに決定した

重光公使に
政府から訓令
草案に對して

【東京二十一日發電通】政府は上海停戰協定條項に付き廿日午後の外務、陸軍兩當局間に協議した結果最後的態度を決定するに至らず十九日上海に於いて成立した協定案の內容は大體日本政府の意向を容れてゐるが問題は日本軍の撤收地域及び日本軍撤收後の警備問題にあり、これは支那側が停戰協定成立後圓卓會議を開催し上海の永久的平和確保の措置の確立を約束するに於ては何等かの妥協不可能でもないので支那側の意向を確かむべく政府は二十一日右に付き重光公使に訓令を發した

芳澤外相
首相を訪問

【東京二十一日發電通】芳澤外相は二十一日午前十一時半首相官邸に犬養首相を訪問し日支停戰交渉[illegible]

協定案に關する政府の回訓發生に付き[illegible]協議して正午散去した

我出先官憲
重要協議

【上海二十一日發電通】重光公使は日支停戰交渉に關する政府の回訓に接したので午前十一時から松岡洋右、野村第三艦隊司令長官、田代參謀長、島田參謀長の參集を求めて重要會議を行つた、この結果本日午後四ケ國公使を加へた日支交渉を開き我が修正條項を説明主張することとなつた

軍縮條約實行の
保障方法を講ぜよ
我軍縮議案の第一項

【ゼネバ二十日發電通】軍縮總委員會幹部會ではヘンダーソン議長の求めに依り四月四日までに議長に提出すべき我軍縮議案十項の具體的説明書を二十日午後一時までに提出したが、その內容目すべきは第一項にある。即ち

一國かその關係深き隣接國中に有力な國防力を有し、且つ政治經濟及び社會組織に於て特異なる國ある場合、又は多年政治的紛亂不完全にして條約を實行せんとしても實行する力なき如き國ある場合には今後生ずべき條約が調印され若くは批准されても實行されぬため、或一國だけ保障的義務を負ふ恐れあることが豫想される故斯る事を生ぜしめざるやう保障方法を講ずる必要あり

との趣旨を述べてゐる點である

宮中の……
春季皇靈祭

【東京二十一日發電通】二十一日は春季皇靈祭當日に付き宮中では皇靈殿に神殿祭の儀を行はせられ各國務大臣、樞密顧問官以下勅任官待遇以上の文武官は大禮服又は正裝にて午前九時半迄に參集同五十分までには皇族殿下も御參集、天皇陛下には午前十時賢所內陣の玉座に出御あらせられ恭しく御告文を奏させ給ひ皇后陛下には御都合に依り萬里小路女官をして御代拜せしめられ正午近く御終了になつた

承認問題に觸れず
我が政府の意向を
滿洲國政府に傳達

【東京二十一日發電通】去る十二日付をもつて滿洲國政府外交總長謝介石氏より提出された滿洲國承認に對し、之が回答として十八日長春田代領事館より謝外交總長に我政府の意向を傳達せしめた、その內容は十二日付通告を接受せる旨を表明したるに止り、承認問題には觸れず、新政府が通告の如く人類の安寧福祉を增進する政策を執らるる事は新政府の前途のため歡迎すべき所と思考すと云ふものである

阿部軍司令官
馬公へ向ふ
二十五日高雄へ歸著

【高雄電話】屏東飛行隊の檢閲を終へた阿部軍司令官は二十一日午前十一時五十七分屏東より高雄著、海軍觀測所視察後、正午出帆の開城丸で馬公へ向つたが、二十五日朝高雄へ歸著の豫定である

政府與黨の
連絡係
島田氏を指定

【東京二十一日發電通】政友會は二十日午後七時半より院內にて幹部會を開き政府與黨との連絡係として大蔵政務次官より正式に島田法制局長官を指名された旨久原幹事長より報告午後八時散會

新奉天市長の
就任式擧行

【奉天二十一日發電通】新奉天市長閻傳紱氏は二十一日午前十一時就任式を擧行し本日より正式に市長の事務を執ることとなつた

貴院の情勢に關し
閣僚が協議
二十二日の閣議に於て

【東京二十一日發電通】政府は二十二日午前十時定例閣議を召集し貴族院側の情勢その他に付き協議することとなつた

內閣改造で
法相、官長と懇談

【東京二十一日發電通】鈴木法相は二十一日午前十一時半首相官邸に森書記官長を招致し內閣改造問題に付き各方面の情勢を聽取懇談した

田端、今川、竹下三氏
神戸を出發
二十四日著任

【神戸二十一日發本社特電】臺灣總督府大異動に伴ひ榮轉した人々、新專賣局長田端幸三郎、新臺南州知事今川淵、新臺中州知事竹下豐次の三氏は二十一日正午神戸出帆の蓬萊丸にて花やかに出發した田端專賣局長は語る

臺灣には以前十二、三年も居たことがあるので全然不案內とも云へぬが仕事は初めてのもの故特に緊張する何物かがある、何分專賣は財政の半分を占めてゐる大世帶であるから大いに骨が折れやうと覺悟はしてゐる、收入減の際故赴任後ウンと努力する

又今川、竹下兩知事も交々語る

理蕃事業は閑地にあつても勉強したことであるが今後更に努力する

と皆元氣で赴任した

近衛公、園公
を訪問

【東京二十一日發電通】貴族院副議長近衛文麿公は二十一日午後四時二十五分興津に西園寺公を訪問し三時間に亘り時局談を交し辭去歸京した

臣節、帝都治安問題
飽までも糾彈に決す
民政黨首腦部會合に於て
但し軍事費豫算には協贊

【東京二十一日發電通】民政黨では二十二日の衆議院本會議に對し二十一日午前九時から町田氏邸に首腦部會合を催し、二十二日上程の軍事費豫算そのものに對しては擧黨一致協贊を與へ、臣節問題に對しては床次鐵相をして二十三日開會の政府の責任を糾彈せしめ、續いて帝都治安問題は武富濟氏が立ち更に議長問題は正副議長の責任問題そのものの可否より院議離れの立場から飽くまで追及することに決定し、午後一時散會

糖業試驗所
豫定地の測量終る
いよ〳〵民有地の
交換買收交渉に移る

【臺南電話】臺南全市民の久しい期待であつた糖業試驗所官制も此程發布となつて新年度に移ると共に創立準備に入ることとなつたが、その豫定地である臺南市郊外長榮國民地の測量も此程大體終了、次いで民有地の交換買收等に移る順序であつて同試驗所本來の事業である糖業の新化學的研究科に於ける各種試驗事業の外臺南州下に於ける糖業關係機關に大貢獻する外、各製糖會社の委囑にかかる各種の試驗をも行ふ關係から

その所要面積はかなり莫大なものと見られ從つて同所職員は官制による定員の外臨時人夫等を合して少なくとも百五、六十名には達するものと稱せられてゐる而して新化學科では目下內地の各種糖業研究機關に派遣されるものと[illegible]大日本製糖を初め[illegible]糖業の綜合的向上に努めてきた[illegible]は新試驗所の設立によつて打切られることとなつたので同地方民は特にこれを悲しんでゐる

米國大使歸國

【東京二十一日發電通】米國大使フオーブス氏は二十一日午後四時横濱發プレシデント・グリーン號にて歸國の途に就く事になつた、後任ジヨセフ・グルー氏は四月上旬來朝する筈

支那の輸入税引上と
砂糖の見越輸出
大連、天津、青島行申込殺到

【大阪二十日發本社特電】昨年末以來滿洲及び北支那向け砂糖輸出は著しく增加し、大連向けの如きは平常年五百噸に過ぎし噸數にして全輸出量の四分の一に達してゐたが中華民國總稅務司は十五日付四月一日以降砂糖輸入稅を引上げる旨發表したので對支輸出は更に刺戟を受け大連、天津、青島 各航路 とも此の見越し輸出品の積込申込みが殺到してゐると

小濱內務局長
廿三日神戸出發

【神戸二十一日發本社特電】小濱內務局長は二十三日の大和丸で神戸出帆の豫定

友部局長歸北
視察を了へ

南部地方の初巡視中であつた友部警務局長は豫定の日程を了へ二十一日午前六時十九分臺北驛著歸邸した

米艦に
歸還命令

【ワシントン二十一日發聯合】米海軍省は本日亞細亞艦隊所屬支那の形勢に鑑み東洋方面へ派遣せる巡洋艦六隻、潛水艦六隻、航空母艦クエツソン號に對し本國歸還を命じた旨發表、驅逐艦は四月十八日潛水艦は四月二日航空母艦は五月二日マニラ發の豫定

安保大將
昨日歸京

【東京二十一日發電通】上海事變に特派された安保清種大將は二十一日午前八時二十五分東京驛著歸京

櫻はころぶ……（東京郊外所見）

大滿洲國首都
長春の新興氣分
（上）

長春本社通信員 大野廣

東北三千萬民衆は久しく東北軍閥の暴政に虐げられ、塗炭の苦しみを嘗め續けて來たが昨年秋の奉天郊北大營事變の導火線に投じた(與民衆の)一石が意外の大波動を起して事態は斯くも擴大された。茲に恨み深き三千萬民衆は之れ天の助けと欣喜雀躍し好機逸せず多年の圧迫を一時に爆發させ猛然と蹶起し、國民一致獨立運動を起し決死の覺悟を以て東北軍閥打倒を敢行して其大なる目的を達成し、舊なる軍閥政治より解放され搾取主義の中華民國の羈絆を脱し、今や萬民翹望の平和樂土の光輝ある大滿洲國獨立國建設の

大業を 茲に一躍って幸ある理想郷を實現せしめた而も彼等滿洲國民が理想の的にあって[illegible]百餘州に君臨した民衆景慕の[illegible]の最後の宣統帝溥儀氏を新國家の元首に迎へた民衆の喜びは[illegible]に達して國を擧げて心から歡迎を表現して居る。又廿有餘年失つての[illegible]

執政就任式の盛儀に述べられた如く萬民の翹望止み難く再び出廬き發祥の地に於て重ねて執政に推戴されたことを非常に滿足され其一族滿臣等の喜びは正に言に盡されず其雲と黄塵に霽され寂寥たる一都市に過ぎざりし長春も此際輝かしき新國家の首都となつて既に華やかな氣分が訪れ、蝶の舞ひ狂ふ陽春の氣が現出して「長春」の名の如く長なへに芳しき春が訪れることを期待し、三千萬民衆と共に、十餘萬の長春市民は其の豫定の踏む所も知らざる熱狂振りで在留日本人及白系露人も滿洲國民の多幸なるを祝福してゐる、滿洲國民が半歳ならずして此の大業を完成した半面には國民の強固なる

決心と 非常なる努力を擁つたことは勿論なるも又一面には第三者の偉大なる力に依ることは云ふ迄もなく此同情に對しては滿洲國民も深く感謝する所である、而して此華やかなる新興國の政府執政溥儀氏の就任式は三月九日盛大に行はれ其翌十日には國務の任命あり組閣式も終つて同日政府組織法六條、十二ケ條及び人權保障法例十二ケ條も公布され政府の陣容が整ひ茲に新國家が宣言せる通り政の第一歩を進め十一日より愈々執政を開始すべき政治始めを爲し十三日を以て第一回國務會議が開かれ新國家の根本大方針を決定し其後の發揮に全力を擧げ溥儀執政の如きは早朝より

深更に 至る迄出務し各大臣も亦親しく政務を監し寢食を抛つて政務に熱心努力して居る有様である、又各政府員は必死の活動を續け既に全世界三十八ケ國への國家成立の通電も十二日に發して嚴重的政務の進行に努め居り其態度振りは日を經るに從ひ各國の承認も案外に速かであらうと思はれる、目下政府中では官吏を日日任命しつつあるが、大なる各省よりの獵官運動も猛烈を極め悩まされて居る状態である、更に所謂政府は多年の弊政を一掃に改革せんとするので容易の業でなく此苦心は實に想像外のものがあらう

◇シナチク◇

三宅、磯元、根岸のお三人は二十一日の船で赴任したが、之を送つて間もなく二十四日には新任復活のお歴々を迎へるわけ、去る人々は一船毎に去り、來る人々は一船毎に來任といふ次第で慕らしい離散と再會する數奇との交錯點▲この光景は、まさに人生の縮圖とも見らるべきものだが、さるにても人生とは面倒なもの歟との感を催し得ない▲二十九日來臺の扶桑丸には南新總督を始め新文教局長等も今度の主なる人事異動の殿として來任する筈で之をもつて長い〳〵間の異動劇も一先づ打ち止めとなるわけで、あとは州內や部局內だけの動きが殘る、だが此の方は無駄な「醜惡」や「災厄」ごつこの數は出來るだけ少くするやうにありたい、總督府幹部にもその氣持は確かにある筈だ▲總督と同船で島田臺銀頭取や荒木理事なども渡臺するさうだ、尤も島田頭取の分は臺銀でなく本店見廻りのための來臺といふ方だらう▲交通局技師で鐵道部長だつた池田季治君は二十年餘臺灣で官吏生活を續けてゐただけに土木の方では隨分澤山に手をかけた仕事が殘つてゐるやうだ、退官しても尚ら仕事を殘しておくと云ふ所に相當未練があるものらしい、尤も目下はお孫さんの病氣で當分離臺が出來ない事情もあるといふ

[illegible]

洋傘 日傘 特價品は正札の半額 賣出し 二十二日より五日間 日の本洋傘店 臺北京町三

キネマ旬報（月三回） 流行小唄 尺八音譜 赤岡商會

時計・眼鏡 蓄音器とレコード 精工堂時計店

家傳秘藥既に四十餘年の經驗あり 痔疾良劑 承堯氏痔藥 效力は責任を以て保證致します 發賣元 玉源商行

新學期學用品 大特賣 高等文具 惠比壽屋商店 臺北市本町二 電話二〇〇〇番

痔疾患者に 中部肛門醫院

賣行益々盛んなる 朝日野球キヤラメル 發賣元 朝日堂

桶製造販賣 並ニ御用達 藤田常吉 臺北市本町二ノ八九 電話一八五七 新安風呂釜有り

慢性病もキツト治る 特効の 弘法湯 是非一度御試し

季節向の 洋服地と セル切賣 專門 大和洋行

ラヂオと電機器具の御用は マツダランプ特約店 サイモトロン特約店 日の丸電氣部へ

延壽肚芽米

寒冷にもはやり風邪にも ◉福福カゼ藥 發賣元 南門藥局

金物商 建築金物材料一式 川本秀助商店 臺北市京町 電一九一五番

自轉車 堅牢責任付

寫眞機 寫眞材料 現像燒付 引伸 寫眞專仕 武井寫眞機店 臺北市本町三丁目（榮天地）

保姆車 小供自轉車 小供自動車 上田屋商店

益々珍らしくておいしい甘栗 ヒカル商店

住宅及別莊地 土地分讓 場所 北投溫泉星の湯ノ上 池上信託商會

武勳輝く凱旋部隊
故國に第一歩を印す
河南丸を先頭に似島沖に投錨
檢疫後戰塵を洗ふ

【廣島二十一日發電通】重任を果し今日晴の凱旋部隊として先着した○○○○の上海出動部隊は下元○團司令部小倉○隊の大部分を乘せた河南丸を先頭に、船足輕く海路平穩明かに明けた似の島沖に投錨、檢疫所に上陸を開始し、出征以來數十日後初めて故國への第一歩を印した、斯くする內久留米○隊所屬獨立○○隊福岡○隊、小倉部隊の一部を乘せた照久丸、福岡部隊、小倉部隊の一部を乘せた寧海丸も續いて投錨した、この日宇品碇泊の各船は滿船飾を施し海邊一帶は歡迎の人の山、國旗の浪が漂うてゐる、軈て江南における連日の惡戰苦鬪に陽燒した將士は久方振に一風呂浴び、戰塵を洗つた後小憩を取り、島の乙女のお茶の接待を受けたが、午後六時檢疫が終ると再び本船に乘船船內に假泊した明朝發門司に向ふ筈

厚東○團高松へ凱旋
三隻に分乘して上海を出帆

【上海二十一日發電通】厚東○團の凱旋部隊中村○隊は本日午前十一時阿蘇丸で吳淞鐵道棧橋を萬歲裡に出發、一路高松へ向つた、又橫山○隊はアムール丸で午後一時、稻垣○團司令部は瑞光丸で午後二時出帆、何れも二十六日頃高松着の豫定である

軍用犬のお手柄
滿鐵線の警備に當り
電線切斷に來た匪賊を殪す

【奉天二十一日發本社特電】奉天獨立守備隊の軍用犬三頭は二十日[illegible]奉天北陵附近花園附近[illegible]警備に當り大戶軍曹引率して最近頻發する電線切斷匪賊の警戒中、午前四時二十分頃

切斷中の匪一名を發見 突然飛びかかり逃げんとするを百メートル追つかけて攻擊を續け、遂に匪賊を殪した一万四百メートル後方に軍用犬の結果を待つてゐた大戶軍曹以下の守備兵は、吠えを發る犬の叫び聲に直ちに現場に駈けつけたがこの時既に賊は頭身に咬傷を受け血に塗れて倒れてゐた、此の殊勳をたてた軍用犬三頭は故板倉少佐の愛犬である、右につき

島本守備隊長は語る 三頭の行動は全く殊勳だ將來このため電線被害は後を斷つであらう、隊も近く百頭十頭を新たに飼育訓練の上、沿線に配置し更に警備の完を期す筈である

廿五勇士の遺骨歸る

【上海二十一日發電通】戰歿三十五勇士の遺骨は本日發の瑞光丸にて歸國の途に就いた

久留米戰車隊に感狀を授與
白川軍司令官から

【門司二十一日發電通】二十一日門司に凱旋着する豫定の久留米獨立戰車隊第二中隊二小隊に對し白川軍司令官は三月一日瀏家塘附近の戰鬪において殊勳を現はせし隊に對し特に感狀授與に決した旨發表された

町尻侍從武官
支那將兵を慰問
何れも皇恩に感泣

【上海二十一日發電通】町尻侍從武官は本日陸軍病院を視察したが、その際同所に收容中の支那將兵を慰問した所、支那兵等は一同[illegible]有難き慰問に感泣し既に無邊なる皇恩が支那兵にまで及んだことに就いて將兵一同感激した

盛んな見送裡に
吉野丸出港
乘客運賃一萬六千圓
新記錄を作る

【基隆電話】吉野丸が二十一日定時出港した、總乘客八百餘名、一等四十名の外全部滿員、近頃では三等は二十日、二等は二十一日朝切符を賣止めたとの盛況、この乘客運賃一萬六千圓といふレコードを作つた

團體客 は臺北一中、臺中師範、臺北工業の修學旅行隊二百餘名で各等ボーイ達は船室の整頓に目を廻してゐた、前新竹州知事猪股松之助氏、前遞信部長三宅福馬氏、前臺南州知事橋光吉郎氏が家族と總引揚げといふので關係

血みどろの死骸を
加害者宅に擔ぎ込む
吳圳も遂に二十日自首
臺北樺山樓慘殺事件

樺山町殺人事件の加害者の一人たる樺山樓雇人吳圳(二七)は一時大稻埕方面に潛伏してゐたが共犯者たる劉金龍が逮捕されたことを識るや遂に身の危からざるを覺り二十日午後八時頃北警察署に自首して出た、これで共犯者五人のうち楊金木の外全部就縛した譯であるが金木も海山郡方面の親戚をたより逃走してゐる事明白となり今明日中に逮捕されるであらう、一方被害者たる樹林保の遊廓親戚友人等十數名は、恨みをのんで死んだ狗民の血みどろの死骸を加害者の家にかつぎ込み、そこに二十日から頑張つてゐるので加害者の家族等はさすがに薄氣味惡くて自宅へ歸れず金木、金龍、金財三兄弟の妻三人は二十日夜南署で證人として召喚取調べをうけたのち、歸宅を許されたが「狗保の葬式が出るから警察に泊めてくれ」と泣きつき〳〵二十日の夜は自分で志願して留置場にとまつた

靜修女學校のバザー

靜修女學校では三月二十一、二、三の三日間同校で第一回のバザーを開いた第一日は久し振りの好晴に惠まれ殊に市バスは同校の校門前で乘降が出來るなどの爲めに非常な人出であつた、作品は主に生徒の製作で技巧すぐれた上等品で、價も安く、一番多く賣れたのは[illegible]、人形等であつた、[illegible]の裝飾に[illegible]だけれど美しく、まるで內地の春を思はせるやうな瓶花を飾り押すな〳〵の大盛況を呈した、二十三日は最後の日であるから午前一回午後一回[illegible]がある

新竹柑橘組合
定期總會

新竹柑橘出荷組合では十九日午後一時半から新竹公會堂にて定期總會を開催した、來賓には[illegible]州產業課長、[illegible]あり昭和六年度決算承認、同七年度豫算案承認の諸件を附議したが二、三組合員から州下の各柑橘組合にて柑橘の品等を統一して貰ひたい又販賣者、組合と生產者の組合は同樣に援助して貰ひたい等の意見が出たのみで何れも原案通りに可決、次いで[illegible]午後三時五十分閉會、[illegible]午後六時和氣靄々裡に散會した

三宅前部長
きのふ離臺

三宅前遞信部長は二十一日午後一時五十七分臺北驛發列車にて離臺の途についたが、驛頭には遞信部、郵便局員、遞信講習所生その他官民多數の見送りあり、車中は安達、高山、南各事務官が基隆まで[illegible]と語り合ひ、基隆到着後基隆局に[illegible]した、因みに三宅氏の東京に於ける住所は東京市外[illegible]一七八番地（[illegible]）と決定した

長閑な 氣分を漂はせて官民特に夫人達の見送りが盛んで[illegible]二千五百名ギツシリつまつて[illegible]

中學設立の聲
東部に再燃
明年度豫算に計上か

【花蓮港電話】花蓮港及臺東兩廳から臺北中學校に出てゐる生徒が[illegible]約四百名からに[illegible]花蓮港に[illegible]女學校が設立された當時から第二の[illegible]中學校設立の聲が[illegible]高く、花蓮港高女はすでに本年第二回の卒業生を出し創立五周年に當るのに、未だ中學校の**設立を** 見るに至らず每年休暇其他で歸省する生徒は[illegible]で往復する關係から登校期日に間に合はなかつたり出迎の父兄を海岸に見つつ見す〳〵引返して[illegible]が出來なかつたりする[illegible]を繰返してゐるが、最近人口增加につれて中學校設立の聲が再燃して來てゐるが、花蓮港東部廳下の一般の要望の聲に動かされ、花蓮港廳としても內々この設立案を[illegible]めてゐるものの如く、其敷地及び設備等に就ても八年度あたりに**計上さ** れる模樣で、[illegible]初は二學級を標準として[illegible]の工事に着手、四ケ年[illegible]として完成せしむる意向らしく

今春流行
洋傘◇日傘
新荷著
臺北本町
福田吳服店

鐵條網を張り
車庫を占據
東京地下鐵罷業

【東京二十一日發電通】日本唯一の地下鐵道從業員百八十餘名は[illegible]を占據し地下軌道の入口を塞ぎその前に鐵條網を張りめぐらしこれに觸れると死すと書いた危險信號の紙片を附け六百ボルトの電流を通し新戰法にて外部よりの襲擊を避け爭議解決まで罷業すると

社員女店員を
召集して對抗
會社側肚をきめる

【東京二十一日發電通】東京地下鐵爭議團男女約百五十名は[illegible]地下に電車四輛を連結し[illegible]を續けてゐるが[illegible]十時十五分地下鐵[illegible]と共に[illegible]出した[illegible]五名と地下の爭議團本部で會見を行ひ[illegible]二十六項の[illegible]に於て人[illegible]者に對して月給額より[illegible]に於て[illegible]給與する額を[illegible]ることを外十二項承認し二項は[illegible]十項は拒絕の旨通告を行ひ爭議團は依然會社側に誠意なきものとして爭議を繼續する形勢となつた會社側は爭議團が罷業を繼續するならば運轉は社員、女事務員には同氏[illegible]デパートの女店員の非常召集を行ひ午後二時より運轉を開始するの肚をきめたので運轉開始となれば爭議團の結束を行ふやも知れぬ形勢である

酒の上の喧嘩から
殺害したこと判明
羅東の甘蔗畑の白骨事件
加害者遂に自白

【宜蘭電話】既報羅東郡三星庄[illegible]甘蔗畑に白骨となつてゐた[illegible]死事件につき[illegible]は從來同志である李阿[illegible]を[illegible]し、[illegible]取調べ中であつたが、遂にその**眞相を** 自白するに至つた、阿[illegible]は[illegible]のため[illegible]の所へ金を借りに行き去る二月一日酔の上で口論を始めたのがきつかけで遂に甘蔗畑の中で格鬪となり、阿[illegible]はかねて[illegible]を病んで身體が[illegible]てゐたため[illegible]まりもなく斃伏せられた上、鳳尾で首を縊られ絕息したものであるが、阿[illegible]は同地男なのでこの事件については**同情を** 寄せられてゐる[illegible]の見解では死後三ケ月經つて居り、加害者の自白から見れば一ケ月位でこの點について法醫學上研究問題とされてゐる

腕を折られた
踏切の遮斷機
加害者は氣早のタクシー
皮肉な世相の一縮圖

臺北驛前の[illegible]公園から西門町の方へ行く間の踏切り遮斷機が**ポツキリ** 折れた話―

二十日夜九時三十二分臺北發[illegible]行列車が右の踏切に差しかかつた際、踏切番はお役目大事と踏り三、四分間も前から遮斷機を下して通行人を「ストツプ」させてゐた、で、列車はおもむろに踏切の上を通過、右足のやうに、大臺北市の眞ん中を、悠々と通り過ぎた、列車が過ぎた後も**遮斷機は** 勿體らしく悠々と上つて行つた、その時先程から「長いストツプ」を喰つてチリ〳〵してゐたタクシー

（キング・タクシー六二九號運轉手[illegible]文郞）が斷打突りで踏切を踏切らうとした、そこに傳統を守る踏切番と、スピード時代のタクシー運轉手との頭腦の差があつた、氣早のタクシーは遮斷機を引き裂き、遮斷機は根元からポツキリ折れたてしまつた、[illegible]轉手と踏切番の爺さんが**佛頂面を** 突き合はしても始まらない、結局雙方泣き分れになつたらしいが、[illegible]なのは踏切の[illegible]、[illegible]一日も折れた腕の遮斷機が[illegible]だけを止めてゐるのみで、なかなか[illegible]らない。

踏切番の爺さんに聞くと「僕い事をしましたよ、早速[illegible]けては置きましたが、何時修繕してくれます事やら、未だ何とも話がありませんから、判りません」と至極朗らかな顏であつた、矢張世は春である―（寫眞は折られた踏切の遮斷機）

× ×

◇追記◇ 前記の[illegible]になつた夕刻、件の踏切を眺めると、これは不思議！折られた遮斷機が繫がつてゐる、[illegible]のお役人は流石スピード時代の人間と見えて、一日かかつて[illegible]急手當を了した

暗殺團を
個々に取調
木內檢事が

【東京二十一日發電通】暗殺團の檢擧は既報の如く[illegible]終了を見たので、その取調べも一段落を告げ、廿一日は[illegible]以下各主任[illegible]午前十時より正午まで搜査[illegible]會議を行つた結果井上、古內、黑澤、[illegible]、田倉、田中等の[illegible]十九名に對し木內檢事が個々の取調べを開始し起訴するものは[illegible]次起訴し取調べを終了する豫定である、[illegible]取調の一段落も大生久保田有[illegible]の逮捕に付き努力することとなつた

白勢前總長
送別運動會

[illegible]同好會では二十一日午後[illegible]時半より白勢前總長の送別[illegible]運動會を[illegible]にて開催したが、[illegible]日先づ小山技師の挨拶

吉日を
選んで撞きぞめ

[illegible]因みに鐘樓は目下建築中で追つて同公會堂で[illegible]の午餐を共にすると、[illegible]式を擧行する、越智家では[illegible]

釣鐘を寄附
近く盛大な搬入式

【基隆電話】本島では珍らしいお[illegible]として[illegible]を投じて[illegible]寺に大梵鐘を寄附し基隆では[illegible]式が擧行される、寄附主は基隆市[illegible]とセン子で京都の[illegible]氏[illegible]が鑄造した高さ五尺徑二尺六寸重量二千斤の梵鐘で市內**光尊寺** の什物とせんため[illegible]がお寺では本山第二十三世[illegible]記念として受納すると、梵鐘は二十四日入港の[illegible]丸で著荷、上屋に搬納して二十七日（日曜）新[illegible]で[illegible]二百餘名の揃ひの衣裳で力綱で曳き[illegible]しそれに[illegible]の有志者が附添ひ行列[illegible]しく[illegible]を練歩きて[illegible]

爭議團
軍歌を高唱
態度強硬で
會社側弱る

【東京二十一日發電通】二十日から罷業に入つた東京地下鐵爭議團は何時間も[illegible]に代るに「此歲は御[illegible]に出で[illegible]」の軍歌を高唱する等[illegible]員の[illegible]を出し[illegible]鬪[illegible]では二十一日[illegible]十二名が[illegible]を[illegible]としたが[illegible]エンヂンが掛けてあるので[illegible]社側では二十一日朝別の電車を運轉して籠城電車に連結して爭議團員を外部に出す作戰を攻究中であるが電車を連結する際に[illegible]は何等かの手段に出るべく一騷動か持あがるものと見られてゐる會社では地上勤務の社員運轉手四十名がありながら引込線の咽喉元に社內籠城をされた爲め一臺の電車も出來ず弱り切つてゐる

臺北軟式野球
第二次戰
殘り九試合の
戰跡

臺北軟式野球協會主催の第二回軟式野球大會の第二次戰の殘り九試合は二十一日新公園、建成校、築地町の三球場にて開催されたが戰跡は左の通りであつた

西	市	場3	A	2 三 四
銀	3	—	2	中
月	5	—	3	法
遞	11	—	1	明
修	4	—	1	總
流	12	A	11	鐵
成	7	A	4	宇
メートル	9	A	3	專
計	8	—	1	印

夜間軟式庭球
組合せ決定
廿二日夕開戰

臺灣山岳協會主催臺灣庭球支部後援に[illegible]の夜間軟式庭球大會は二十二日午後六時半より開催されることとなつたが、二十一日新高喫茶店にて行はれた[illegible]會に於ける抽籤によつた組合せは左の如く決定した[illegible]選手は必ず純白のユニフオームを使用されたしと

一般の部第一次戰

△[illegible]（遞信）△[illegible]（州）
△田村[illegible]（淡水）小野[illegible]（無）
△陳延[illegible]（無）[illegible]（一師）
△[illegible]田內（無）[illegible]（師）△耳井村田（淡水）小森[illegible]（商）
△下瀬正光（無）西崎[illegible]（聯合）△內園吉田（商業）[illegible]（督府）
△長木大野（州）陳永[illegible]（無）
△荒牧[illegible]（法院）陳[illegible]
△[illegible]（本町）△陳阿[illegible]（[illegible]）△王秀
佐々木（專賣）△[illegible]
上村川柳（稻江）△上原吉村（市）
倉田鈴木（淡水）△[illegible]
友）西尾[illegible]

第一次戰

オールドボーイズ
△[illegible]（法院）△[illegible]（[illegible]）△[illegible]（督府）△[illegible]
井（專賣）三宅石田（州）

第二次戰

（大學）[illegible]（法院）
△佐[illegible]（[illegible]）井口[illegible]
（[illegible]）△伊[illegible]大井（本町）前田井上（州）
一の勝者對二の勝者三の勝者對四の勝者

臨濟寺前住職の坂上老師出發延期

臨濟寺前住職の坂上老師は二十二日出發し[illegible]にて[illegible]の豫定であつたが[illegible]の出にて延期し三月二十五日瑞光丸便で[illegible]九日にて直行歸國せらるると云ふ

加藤氏洋畫展

[illegible]の加藤利以[illegible]氏の洋畫展は二十一日から[illegible]で開かれたが、流石に力の籠つた作家の[illegible]的天分を示してゐる作品が多く、臺北でコレ程の洋畫展が見られるのは珍らしい會期二十三日限り

JFAK 三月二十二日

▲午前六時三十分 朝の體操、ラヂオ體操、今日のお天氣のおしらせ（臺北測候所發表）
▲午前八時 全國氣象通報（東京）
▲午前九時三十分 家庭百科問答 △[illegible]とは
▲午前十時 今日の[illegible] △そぎ鮪△たくわん[illegible]
▲午前十一時 [illegible]（臺北市公設[illegible]市場發表）
▲午前十二時五[illegible]
▲午後○時十分 放[illegible]報▲氣象通報（臺北[illegible]）
▲午後○時二十分 [illegible]（レコード演奏）[illegible]られてなかつた[illegible]ギケット・オーケストラ[illegible]士よ水[illegible]ロフオン・ダンス[illegible]四、ジャニー[illegible]ハーストラ七、シンフオニア・ルーソー[illegible]オリエンタル[illegible]ペラ[illegible]
▲午後五時 子供の時[illegible]
▲午後五時三十分 [illegible]（大阪）刑法[illegible]
▲午後六時 子供[illegible]の卷と人類の[illegible]
▲午後六時三十分 [illegible]一テ二百年記念[illegible]
▲午後七時 [illegible]校教授[illegible]田正一[illegible]ルダイン・ホイゼル[illegible]
▲午後八時三十一分 [illegible]（東京）
▲午後八時四十分 [illegible]合唱[illegible]
▲午後九時二十分 [illegible]

刑事民事
訴訟上告
事件債權債
務ニ關スル
一切ノ整理

辯護士
法學士
前高等法院覆審部判官
從五位 松田宏一
事務所 臺南市大宮町四丁目
出張所 嘉義市元町三丁目

漢文臺灣日日新報

內閣改造問題
鈴木久原反鈴木系策動
政友會大危機

二十一日東京電。內閣改造問題。鈴木系久原系反鈴木系策動。愈見深刻。二十日議會終了後。中國四國兩體其他。依各種名目。於各處種々會合。擁三百三名大世帶之政友會。危機日深此黨內錯綜關係。使首相內閣改造爲困難。議會後能否以首相既定案改造。頗屬難事。森書記官長。察知此間事情。二十日對某記者。謂內閣改造問題形勢如何。書記官長或將辭任。此露決意。在森官長意向。謂首相一旦方針決定。不問事情如何。若不斷行。則國務到底不能圓滑。其乎鈴木法相之內相實現。若不實現。則欲辭任。有相當決意云。

廿一日春季皇靈祭
聖上恭奏告文
皇族及各大臣參集

二十一日東京電。二十一日春季皇靈祭當日。宮中舉行皇靈祭並神殿祭儀式。各國務大臣。樞密顧問官以下勅任同待遇以上文武官。各以大禮服或正裝。至午前九時半參集。同五十分。皇族殿下來集。天皇陛下于午前十時。就賢所內陣玉座。恭奏御告文。皇后陛下爲便宜上。命內山小路女官拜禮。近正午告畢。

聯盟委員一行
二十一日視察閘北

二十一日上海電。聯盟調查委員一行。二十一日午前九時。由加西旅館出發。視察閘北戰區。日本一邊同行者。吉川大使以下七名。中國一邊。顧維鈞氏以下三名。分乘二十臺自動車于閘北視察後。並擬視察眞茹。江灣鎭。吳淞等處。

政友會
開幹部會

二十一日東京電。政友會二十日午後七時半。于院內開幹部會。對政府並與議運務係。犬養總裁正式指名島田法制局長官。久原幹事長將情報告。午後八時散會。

滿蒙特派使節
田中大使
廿三夜出發

二十一日東京電。滿蒙特派使節之田中大使。訂來二十三日午後九時二十五分。東京驛出發。首途視察滿蒙。

政府欲封鎖
野黨言論
民政黨憤慨

二十一日東京電。政府與黨。以今議會。只欲審議軍事豫算。封鎖野黨言論。民政黨憤慨。二十日午前院內代議士會。深水。土屋兩氏。我黨鑒于時局重大性。軍事外交問題固勿論。面臣[illegible]問題。一般政治問題。選舉干涉問題。欲徹底的質問。糾彈政府責任。述强硬意見。求幹部考慮。爲此幹部亦將以此方針。向各派交涉會提議。要求二十二、三、四日三日間。盡徹底的言議也。

滿洲國成立
執政溥儀入都詳記

滿洲國成立。執政溥儀。於先一日即八日下午。抵長春。是日吉林省城八旗文武舊官。及民衆各代表。並長春守備隊。均依所定位置。按次排列。熙洽等。則先赴公主嶺迎接。此外如中山金壁東。金卓。張海鵬。蒙古齊王淩公。賓熙。三多。榮孟枚。張燕卿。均佩黃花。在站恭歡迎。同日下午正三時。執政夫婦專車一到。車上有承宣官。降車接取歡迎者之名片。隨按次分班。入見畢。即請執政。同其夫人。一同降車。維時站後上軍樂齊作。凡在站歡迎者。均脫帽。行一鞠躬禮。執政即於軍樂歡迎中。過橋離站。當時廣場中排列整齊。十分嚴肅。而凡以吉林八旗舊臣等。極歡躍之至。當執政同其夫人到站。均行跪安禮。長跪迎駕。比執政之汽車行經該地時。各臣百餘人。齊呼萬歲。因而民衆。亦均高呼萬歲。有頭髮斑白年逾七八十之老臣數人。因一時狂喜。悲從中來。感想當年。不禁淚下。三時入執政府。有舊臣數十名跪接。即脫其絨帽。命起立。既而偕其夫人。入內休息所傳見者。唯熙長官齊王臧省長金督辦等數人而已。與執政同來者。臧省長。熙長官外。有鄭孝胥羅振玉商雲汀萬繩栻等。九日就任式之盛況。已詳本報。附執政就任詞。及熙洽等頌詞錄左。

執政就任辭

予以涼德。避地海濱。時承衆情推戴。固辭不獲。暫領執政。當茲地方凋敝。盜賊多有。局勢困危。百廢待舉。德薄能鮮。其何能任。所與天下共見者。惟此區々救民之心而已。舉賢任能。無敢黨偏。信賞必罰。無敢阿從。敦睦隣邦。無敢詐虞。撫愛民衆。無敢欺侮。凡吾境內。一視同仁。無敢岐異。崇禮敎以正風俗。行節儉以蘇困窮。競々業々。無敢怠荒。書後世明示。合焚香籲天。願早生聖人。以救百姓。予以敬本此心。扶持維局。以待能者。天日在上。共共鑒之。

大滿洲國大同元年三月九日　溥　儀

▲熙洽等頌詞

吉林建國委員會委員長率屬祝執政就任詞云。維大滿洲國大同元年三月九日。恭逢執政就任大典。吉林省建國委員會委員長熙洽。謹率各委員各團體各代表及所屬各職員等。敬綴合詞慶祝。其詞曰。緬維聖清。遠肇祥基。中原入主。卜世多期。居攸無端。復沛同風。拱宸屏蔽。飲水思源。蕩蕩被澤。遂氣迭起。銅馬興陵。故動如燬。內顆豺狼。命同螻蟻。侯后來蘇。徵召胡恃。天既長容。地同天水。皇仁惘念。在抱痌瘝。上天假手。驅除貪殘。皇情撫謙。羅居尊號。水火拯民。剷貪截弭。大旱得雲。雪晦朗曜。盧旅洞塵。壺漿載道。杏庭詢岳。爾甯助予。園闠抒枕。職思其居。民亦勞止。吹生噓枯。起彼溝瘠。還我聰謨。百爾靖共。祇承明命。匪蓮斯輿。乘時啓基。從容如彊。臨機持衡。驅馬增競。蹔爲式定。幾美中興。除案肯政。萬衆騰歡。一人有慶。謹祝。

上海問題最後解決
審議未解決案

二十日上海電。停戰基礎案。於日華兩國政府確認後。爲上海問題最後的解決。將以左記順序。審議未解決案。

一、協定兩國軍完全休戰實行。日華兩國軍部代表正式會議。

二、依協定第三項規定。加中立國代表。監督日本軍占據區域退避。開兩國代表委員及英法意美四國委員之圓卓會議。以上海事變爲中心。審議日華問題。

平塚長官
初巡兩州下

平塚長官。于二十一日夜行車南下。初巡高雄。臺南兩州。日程如下。二十二日高雄。二十三日臺南。二十四日烏山頭嘉義。二十五日。日月潭。二十六日霧社。二十七日歸北。

上海事變損害
市政府管轄區內
國民政府統計局調查

二十日上海電。上海事變。市政府管轄區內損害。國民政府統計局調查。發表如左。

損害總額	一五〇、八七一萬元
被害戶數	一八〇、八一六戶
被害面積	四七四方里
被害者數	八〇四、〇八四人（全市人口之四成五分）
死亡者數	六、〇八〇人
負傷者數	二、〇〇〇人
行方不明者數	四、〇〇〇人
直接間接被害財產價格	七八〇、一九二萬元
被占據區域休校學校	二三三
其學生數	三九、七三五人（全市學生之四成二）
失業教員	三、一〇七人
被占據地工場全數	五九七
其損害額	六、七一四萬元
全市職工八成失業。直接間接商店損害	五九、〇七四萬元
全市銀行錢莊營業減八成五分	
鐵道損害	一六、八九三、三二七元
公共事業被害總額	二、三五二、〇二五元
治安設備損害額	五四萬元
市政府收入減	二二萬一、二八六元（減收四成）

中立地帶馬賊來襲
滿洲國與日本軍協力
將徹底討伐之

十九日奉天電。最近奉天附近及中立地帶。馬賊來襲。種々暴行。又放高言。謀擾亂地方人民。滿洲國政府求日本軍協力。近將徹底的討伐。對王殿中。于芷山。張海鵬各軍。下匪賊討伐令。一方關東軍。圖中立地帶安全。決以齊々哈爾混成〇團步兵〇〇隊。〇〇隊。騎兵〇〇隊〇〇隊。及山砲〇〇隊。討伐馬賊。同隊於十七日午前。由齊々哈爾出發。一部於十八日夕刻。發奉天驛。即由金州經城子疃。向莊河討伐匪賊云。

豫備停戰交涉成立
日華軍事委員內定
廿一日正式確認

二十日上海電。十九日豫備停戰交涉成立。停戰協定基礎案于二十一日最後的會議。正式確認。右確認後之日華軍事委員。內定如左。

日本　參謀長田代少將。島田少將重光公使

中國　十九路軍總指揮蔣光鼐。六十一師長戴戟郭泰祺外交次長

新莊區委會

既報新莊街區委員會。于月十九日午前十時半。開于街役場樓上會議室。出席區委員二十三名。阿久根街長。宣告開會。就街政述所見。述希望。希各委員。務捨去私的感情。協力爲社會奉公。使街政得以圓滿。次入協議事項。關於國語講習會及講習會之創設。諮求意見。終決定由當街直轄開始。後就授業料滯納之件。及公設產婆利用。蓬萊種原種子等件。有所討議。而散會。

後龍漁業組
廿四日總會

竹南郡後龍漁業組合總會。訂二十四日上午十時起。開於同所。報告六年度決算。及事務經過。次提議七年度豫算。及事業施事。併規約一部改正所關三案。終由組合長諮問漁具共購。併發動機漁船之購入所關兩案等云。

增設機動車停車場
並將時間一部改正
擬四月一日實行

鐵道部對北部運轉揮發油機動車區間。更計畫新設停車場。以便地方民交通。擬自四月一日。新設左記三停車場。

北五堵驛（七堵五堵間）

江子翠驛（萬華板橋間）

浮洲驛（板、橋樹林間）

此等附近住民。來往頗便。且該停車場。設備簡單。使辦理乘降客。又因增設停驛。擬改正揮發油機動車運轉時間。南下臺北驛發。下午三時六分。變更同二時三十四分。以外大體仍舊。然各驛時間不無多少變更。又平溪線及集々線時間改正。一昨年縱貫線改正後。速度甚緊。而前記兩線。因線路關係。依然緩行。今該線路改良告終。擬運轉大型機關車。同時改正時間。以應時代要求。其運轉時間。平溪線較從前約早十分至十九分。集々線即十七分至三十分。又平溪線接續宜蘭線。從來有遺憾之點。今回有考慮此點。乃將臺北直通列車。停車于三貂嶺驛。以便平溪線乘客。又集々線。因日月潭工事再興。乘客頓增。從來運轉回數。一般頗感不便。今回擬增一往復。得與縱貫線接續云。

臺南州農會
獎勵栽菜

臺南州農會。因本年度實施蔬菜獎勵。因最近州下各地。需給激增。欲期蔬質改善及增殖。自前年來。各支會開品評會。一般成績良好。故于七年度。絡在農會苗圃。企圖增殖優良蔬菜種子。而對一般栽菜希望農家。依其種類。以有償或無償配付。又最近州下西瓜品質。漸有退化之勢。爰自同年度。購入優良種子。對希望者無償配付。以期種子之更新云。

臺灣製糖
各處糖分狀況

臺灣各製糖所。去十七日糖分。橋子頭一四、九八。後壁村一四、八七。東港一四、〇九。車路墘一四、八七。三崁店一四、四六。灣裡一四、七五。臺北一二、六〇。旗尾一四、一五。恒春一四、六四。因近來降雨。氣溫急變。多少影響。但今後若天候回復。當益增率。前途樂觀云。

停戰協定草案
日華代表意見一致
中國人已反對運動

二十日上海電。停戰協定草案。十九日重光公使郭泰祺氏間意見一致。而中國人早已開始反對運動。上海各團體救國聯合代表丁錦以下六名。二十日朝九時。訪問郭泰祺氏。謂顏惠慶氏於寧府。雖屢次聲明日本軍若不完全撤退。則不應停戰交涉。未見實現。竟欲交涉。是何故歟。且條件乃國辱的。不能應承。若論現狀。蘇州以來揚子江以南。黃浦江以北地域。恐成第二滿洲。政府要求上海之日本軍撤退。固爲勿論。而滿洲之日本軍撤退。亦須要求。而交涉須於撤退後。郭氏對交涉內容。目下向政府請訓中。不能言明。自己推薦政府命令善處而已。呼郭代表爲國賊。或起一騷動。警戒中之法國租界巡警制止之。始得無事。反對運動背後。有廣東派策動云。

新基隆市衙落成
開記念展覽會
並各種餘興徵入場料

基隆市新廳舍落成記念展覽會。訂來三十一日起五日間。每日自午前八時至下午四時開場。各方面出品物。品已齊集。而市內出品物。亦已寄到八分。現唯裝飾會場。出品數多于當初豫定。故分配陳列尤要苦心。一面宣傳標已配往島內主要官衙會社。集會所。各驛等。且印刷市內地圖。添付招柬。發送于各方面。而出品中。有稀見參考資料頗多。殊如殖產局水產課特別出品之大水槽。川爲臨時水族館。及由神戶博覽會讓受之人造人間。或設名所舊跡案內。參觀漁船。水產試驗船。其他在公會堂開廉賣市。實演水產館附屬製作經節。珊瑚加工宣傳。無料饗應魚料理。開會中餘興。總商會主開龍舟競渡。商和會主開變裝競技。廣告行列。其他兒童角力。演戲。武術大會。映寫影片。模型飛行機競技會。小公校兒童旗行列。藝妓手舞等。又市中裝飾。自驛前至會場道路。各商店結廣告雲洞。新廳舍東北角。建一高五間塔。又本島人一邊之迎媽祖期。擬爲延長。于開會中衆大祭。現由關係者協議中。諒能實現。願該展覽會。固有一部唱反對。然爲補充經費。及整理會場。除有引率者及市內學校團體。兵士以外。將徵收入場料。大人十錢。兒童五錢云。

朴子方委
議率先改善
嫁媒嫺制度

東石郡朴子街。去十八日午後七時起。在街役場樓上。開方面委員例會。出席者方委而外。有助役郭炷方。會計役黃如臨。庶務主任施金龍諸氏。附議現下本島惡習嫁媒嫺制度。滿場一致決議如下。

一、一方面委員。率先服行廢止本制度。

二、利用各種集會。宣傳本制度改善。

三、事汎上嫁媒嫺。藉名入養女籍者。極力防止。

四、對酷使養女。或虐待者。加以忠告。不悛藉警察力辦之。

五、依賴言論機關。對本制度實行者。稱揚。及或排斥不諾之人。喚起公正輿論。

基隆郡沿岸漁民
利用閑散期編網
郡當局獎勵發展

基隆郡下沿岸各庄部落民。主爲從事鰮焚入網及鰹待網漁業。而冬期漁業殆閑散。然近來漁業界不振。漁民生活困難。郡當局爲此救濟。及利用冬季閑散期。並爲獎勵老幼婦女子副業。自昨年來。獎勵編製珊瑚網。以講師松野技手爲指導者。于河岸各地。巡開講習會。因而金山庄則金包里。水尾。磺港。瑞芳庄則鼻子寮。貢寮庄則卯澳。虎子山。挖子。舊社。新社等部落氏。各以其適于自己職業之容易副業。均喜于從事。成績異常良好。聞如虎子山受講者。多至九十名。如此狀態。當局亦甚致意。而松野技手。亦不厭勞苦。其得好副業之彼等受講者。現欲組織堅固團體。以圖製品統一。低減生產費。資金融通等。企圖斯業之發展。正爲運動。至于販賣法。生產者與仲買人間。締結買賣契約。而現在宜蘭郡頭圍庄方面。每年有相當出貨。其買賣額約二萬圓。若前記統制團體設立。則基隆郡下之編網業。亦當增加也。網之編法。爲普通蛙又。四寸目橫百六十目。縱四十目爲一反。重量四十兩左右。一反價格。由仲買人之鑑定如何。及製品之良否而定。普通爲一圓二、三十錢之譜云。

警官武道大會
宜蘭優勝
祝賀會

臺北州下警察職員武道大會。去十九日。開于臺北。宜蘭郡選手。柔道部再獲優勝旗。又劍道部亦占第三位好成績。去二十日凱旋。同課員。即在成興樓開優勝祝賀會。又柔道部選手。岩本五郎氏。年二十三。出發之際。接福岡之姐死去悲報。祕不發表。竟赴戰場。獲個人優勝云。

生徒盜書籍
加以注意不改
即嚴重處分

臺中市。新學期開始之際。各書店盛陳各種參考書等。而不良學生。乘混雜之際。盜往古書店求售。該金費消于觀覽活動寫眞。或充爲口腹之資。爲是臺中署嚴重搜查結局。除女生徒外。各校皆有此等不良學生。然學校當局。若知此事。即爲處分。而警察署因慮及學生前途。恒寬貸之。故若初犯一二回。皆加以注意。甚後若不改悔。即欲出以斷乎處置云。

入學試驗

臺中第一第二兩中學校及商業學校。俱決定來二十七八兩日。施行入學試驗。而高女則早一日。於來二十六七日施行。募集數各校皆豫定百名。

虎尾
催討滯納

虎尾信用購買組合長方瑞發氏。及該組合書記林能通氏。自產業組合記念以來。每日時間外勿論夜間。盡力向滯納組合員。各戶別訪問。催討滯納金並過期利子。一般組合員。受感動。向前完納者不乏其人云。

擧卒業式

虎尾尋常高等小學校。月二十一日。午前十一時起。在本校舉行第二十四卒業證書授與式。并開兒童成績品展覽會。修業式。則定來二十八日云。

臨濟寺坂上師
出發延期

臨濟寺前住職坂上老師。本定二十二日離臺。經由沖繩歸國。嗣因要務繁忙。是日不能出發。乃變更于二十五日午後二時五十五分發臺北驛。搭乘朝日丸。直往神戶歸國云。

後壁白河間
產路工事

新營郡後壁白河間。州指定產業道路。因每年雨期。諸車難以通行。交通不便。州當局。支出補助金八千餘圓。由嘉義消防組。包辦砂石舖裝。自客冬着手以來。工事順調進行。按四月中告竣工。

朴子
米試食會

臺南州東石郡布袋庄管內。最近盛栽培蓬萊種。北成績頗佳。庄當局。訂來二十三日午前九時半起。開庄下產米試食會。郡下篤農家懇談會。從事宣傳。

國講修了

東石郡六腳庄常設國語講習所。訂月二十二日。假六斗尾公校。舉行第一回修了證書授與式。畢繼開學藝會。而本期終了生男四名。女二十六名。計三十名。中以優績受賞者。及精勤賞者如左。

郡守。庄長賞。柯氏杏。

庄長賞一等李氏銀。二等賞蘇氏金匙。蘇氏月嬌。蘇氏金葉。三等賞吳氏品。鄭氏玉。蘇牧。

精勤賞一等柯氏杏。陳氏足。二等蘇牧。蔡氏秋玉。

羅東道士徒弟火傷後
自發的籌設崇佛會
將禁止演劇違者罰金廿圓

既報羅東地方。爲廢止道士裝演劇。去十九日。羅東街內二十餘名道士。各深識道士裝演劇之非。是日籌設崇佛會。防止同業者。互相競爭。及圖向上道士人格。延名士講教。及開講習會。而禁止事項。即女裝和尚。取經。李世民。遊地獄。打破。挑絕。會二娘。弄樓。其他類似演劇事項。若違反者。即罰以二十圓。其他欲加盟羅東街敎化聯合會。以上事項。道士間。但出席一回。十錢會費。此事反對者。不過二名。又關于一般勵行。羅東街內各保正。希望追加保甲規約。即若家長要求道士演劇者。亦爲紊亂地方風俗。將處以過怠金云。

柑橘出組

新竹柑橘出荷組合。十九日午後二時半起。假新竹公會堂。開定期總會。來賓有稻川州產業主事。黑田市產業主任等列席。事務報告後。附議昭和六年度決算承認。同七年度豫算。宅款一部變更諸件。有二三組合員。關於統一州下各柑橘組合之柑橘品等。請當局對於販賣組合與生產者組合。要同等援助開陳意見。均照原案可決。其次稻田產業主事訓話。午後三時五十分閉會。後移開懇親宴。午後六時散會。

基隆模型飛機
競技會

基隆市役所。爲「海之展覽會」餘興之一部。主催模型飛行機競技會。其期日訂四月三日（日曜日）若降雨則延于十日。午前十時起。場所在高女校庭云。

新竹
產支總會

既報臺灣產支組合協會新竹支會。去十九日午前九時起。假州會議室。開第十回通常總會。木原支會長敘禮後。附議昭和五年度決算。並七年度豫算。均照原案可決。至正午閉會。又二十日午前九時起。假新竹公會堂。開實務競技會。分珠算簿記兩部。開始競技。發表成績授與賞品而散。

臺中
流質公質

臺中市公設質舖。訂來二十七日。午前十時起。在市役所內。公賣當舖物品。開衣類及其他。價格將近萬圓。本回爲年度末整理。將更降價廉賣云。

詩　壇

阿里山寺　高橋竹迷

七千尺上碧雅寬。路自大森林下迴。一鳥不鳴天欲暝。鐘聲敲破白雲來。

純眞詩話

爆彈三勇士　西川萱南

日本魂凝作肉彈。毀條爆破肯俱殘。澎然餘響如雷擊。世界何人膽不寒。

詩亦如聞佛像。

次韻酬林丹亦二首

自拎老眼未朦朧。花月風流百感空。大陸山水勝丹[illegible]。長生欲訣葛仙翁。

叔世陵夷事々非。紅塵[illegible]葬成園。半生憂悶惟杯酒。一醉忘開途落暉。

酒徒慨世口吻。　潤菴漫評

▲嵩なかだち▼

求職二件一回　[illegible]

其他一回　[illegible]

電話至急讓る　末廣町四電三〇三三

力強　[illegible]

新學期　[illegible]

貸住宅　御成町五丁目　[illegible]

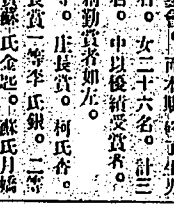
恩給立替　電三三〇三六

漢文臺日案內

自轉車　東京中古　竹內　電話三一六九

廣告

牛馬之虱　以此法除之



虱所居處。撒布[illegible]。則虱盡死。北期間留。五六日後。再施行之。自完全滅亡。此乃[illegible]之衛生法。

正純道味　厚雄滋養　協立煉乳　大日本乳製品株式會社